

令和3年度入学生1年次開講

シラバス

幼児教育保育学科

幼児教育保育学科専門科目

音 楽 I	柚木 たまみ 松澤 須美 他	216P
音 楽 II	柚木 たまみ 松澤 須美 他	218P
図 画 工 作 I	深尾 秀一	220P
幼 児 体 育 I (A ・ D)	山中 博史 村井 愛美	222P
幼 児 体 育 I (B ・ C)	山中 博史 村井 愛美	224P
幼 児 体 育 II	北尾 岳夫	226P
情 報 処 理 基 礎 I	林 泰子	228P
教 育 原 理	李 霞	230P
保 育 原 理	永 久 欣 也	232P
総 合 表 現 I (A ・ C)	松井 典子 村井 愛美	234P
総 合 表 現 I (B ・ D)	松井 典子 村井 愛美	236P
領 域 指 導 法 (表 現)	三上 佳子 深尾 秀一 柚木 たまみ 松井 典子	238P
領 域 指 導 法 (言 葉)	保田 恵莉	240P
領 域 指 導 法 (環 境)	久米 央也	242P
領 域 指 導 法 (健 康)	北尾 岳夫	244P
保 育 内 容 総 論	三上 佳子	246P
乳 児 保 育 I (A ・ C)	内藤 幸枝 杉田 のり子	248P
乳 児 保 育 I (B ・ D)	内藤 幸枝 杉田 のり子	250P
障 が い 児 保 育	別 示	252P
多 文 化 共 生 の 保 育 と 方 法	永 久 欣 也	254P
子 ど も の 保 健	飯盛 順子	256P
子 ど も の 心 理 学	早川 滋人	258P
社 会 福 祉	岡本 芳也	260P
子 ど も 家 庭 福 祉	楊 慧敏	262P
社 会 的 養 護 I	木塚 勝豊	264P
社 会 的 養 護 II	大久保 和久	266P
子 ど も と あ そ び	松井 典子 三上 佳子	268P
手 話 I	原田 直子	270P
手 話 II	原田 直子	272P
幼 児 教 育 保 育 学 入 門	三上 佳子 松村 都子	274P
保 育 実 習 指 導 I (A ・ C)	永 久 欣 也 三上 佳子 保田 恵莉 松村 都子 松井 典子	276P

保 育 実 習 指 導 I (B ・ D)	永 久 欣 也 三 上 佳 子 保 田 莉 恵 松 村 都 子 松 井 典 子	278P
保 育 所 実 習 I	永 久 欣 也 三 上 佳 子	280P
施 設 実 習 I	永 久 欣 也 保 田 恵 莉	282P
保 育 リ ー ダ ー 論 I	三 上 佳 子	284P
公 務 員 教 育 保 育 職 特 別 講 義 I	久 米 央 也	286P

幼児教育保育学科選択自由科目

レ ク リ エ ー シ ョ ン 概 論 (幼 教)	山 中 博 史	288P
公 務 員 特 講 I (幼 教)	長 谷 川 正 雄	290P
公 務 員 特 講 II (幼 教)	長 谷 川 正 雄	292P

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽 I	柚木たまみ(専 任) 松澤 須美(非常勤) 他	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Music I							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修、レクリエーション・インストラクター資格の必修						
授業の到達目標 ・音楽表現実践のための基礎技術と知識を身につける。 ・楽譜を理解して読むことができる。 ・歌唱においては、階名（ドレミ）で音の高低を認識し歌うことができる。 ・こどもの歌のレパートリーを身につける。 ・ピアノ演奏においては、初心者の場合最低バイエル60番程度が演奏できる。ピアノ経験者においてはグレード別にさらに上の演奏技術を身につける。							
授業の内容 教員は長年にわたる音楽教育者、音楽表現者としての経験を活かし、個々のレベルにあった発声の基礎、歌唱技術およびピアノ演奏技術を指導する。 幼児教育・保育に必要な音楽技能の基礎固めをする。 楽譜を理解して歌唱とピアノ演奏をするために、基礎技術と知識を身につけていく。 クラス授業〔45分〕における基礎理論の学習、童謡の歌唱およびソルフェージュと、ピアノ演奏技術のレッスン〔45分〕の二つの枠を併行して進めていく。 ピアノは1人15分ずつの個人レッスンを3名グループで行う。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子他（三学出版） 価格（本体2,100円＋税） 『ピアノへのアプローチ4steps』 伊藤嘉子（音楽之友社） 価格（本体2,200円＋税） 『超やさしい楽譜の読み方』 甲斐彰（音楽之友社） 価格（本体800円＋税）						
参考書	ピアノ曲については、それぞれのグレードに応じて指定する。 他、クラス授業では随時プリントを配付する。						
担当者からのメッセージ	楽譜を読んで歌うこと、ピアノ演奏することに慣れ親しみましょう。上達の近道は日々の練習に尽きます。 毎回の授業には、復習・予習を十分に行い参加してください。 目標到達のための確認テスト、小テストを授業内に数回行います。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業内に行う確認テスト、小テストおよびピアノ課題については、学生個々に対してよりスキルアップする方法をコメントし、次の課題消化へのヒントとなるようつなげる。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業においてプリントと実技の課題により理解度・習熟度を確認する				
	授業内試験	20	ソルフェージュテストおよび理論の筆記テストを実施する				
	定期試験	50	歌唱とピアノの実技試験を行う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 12時15分～13時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 理論・楽譜を読む知識(音符、音の長短) ソルフェージュ ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 講義ノート作成	180
2 /	理論・楽譜を読む知識(音符、音の長短) ソルフェージュ ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習 講義ノート作成	180
3 /	理論・楽譜を読む知識(音符、音の高低) ソルフェージュ 童謡(春の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
4 /	理論・楽譜を読む知識(音符、音の高低) ソルフェージュ 童謡(春の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
5 /	理論・楽譜を読む知識(音の強弱) ソルフェージュ 童謡(春の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
6 /	理論・楽譜を読む知識(音の強弱) ソルフェージュ 童謡(夏の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
7 /	理論・楽譜を読む知識(拍子とリズム) ソルフェージュ 童謡(夏の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
8 /	理論・楽譜を読む知識(拍子とリズム) ソルフェージュ 童謡(夏の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
9 /	理論・楽譜を読む知識(速度記号・速度標語) ソルフェージュ 童謡(生活指導の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
10 /	理論・楽譜を読む知識(速度記号・速度標語) ソルフェージュ 童謡(生活指導の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
11 /	理論・楽譜を読む知識(発想標語) ソルフェージュ 童謡(行事の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
12 /	理論・楽譜を読む知識(その他の記号) ソルフェージュ 童謡(行事の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習 定期試験歌唱課題曲発表 小テスト実施の告知	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
13 /	楽譜を読む知識(小テストに向けた振り返り) ソルフェージュ(小テストに向けた練習) ピアノ個人レッスン 定期試験歌唱課題曲の練習	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
14 /	ソルフェージュ小テスト 定期試験歌唱課題曲の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	演習 ソルフェージュ小テスト	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	180
15 /	理論小テスト 定期試験歌唱課題曲の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	演習 理論小テスト	ピアノ曲の練習 童謡の練習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
音楽Ⅱ	柚木たまみ(専任) 松澤 須美(非常勤) 他	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Music II							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・童謡のレパートリーを増やし、クリアな歌唱演奏ができる。 ・童謡弾き歌いのレパートリーを増やし、クリアなピアノ演奏ができる。 ・音楽Ⅲ（2年次科目）に結びつけられるように音楽理論の知識（調性と音程）を身につける。							
授業の内容 教員は、長年にわたる演奏家・音楽教育者としての経験を活かし、個々のレベルに合った発声の基礎、歌唱技術、表現方法およびピアノ演奏技術を指導する。 音楽Ⅰで修得した内容を基盤に、さらに保育・幼児教育の現場で役に立つ実践的な知識と技術の向上を目指す。 クラス授業〔45分〕では童謡のレパートリーを増やす。自然な発声で表情豊かに歌うとともに、言葉の持つ力や子どもの発達をふまえた歌遊び、音楽表現遊びについても学習する。また、歌唱や楽器演奏時に必要な調性と音程についての理論も学ぶ。 ピアノレッスン〔45分〕は3人単位のグループで一人15分の個人レッスンを行う。グレード別に初級コースでは最低バイエル終了程度を目標とするが、個々の能力に応じて課題を進めていく。また、童謡弾き歌いやマーチの課題も学び、実践的なレパートリーを増やしていく。							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 柚木たまみ 松井典子他（三学出版） 価格（本体2,100円＋税） 『ピアノへのアプローチ4steps』 伊藤嘉子（音楽之友社） 価格（本体2,200円＋税） 『超やさしい楽譜の読み方』 甲斐彰（音楽之友社） 価格（本体800円＋税）						
参考書	ピアノ教則本は、個々の到達技術等によって指示する						
担当者からのメッセージ	課題を毎回確実にこなしていきましょう。毎日の練習が実を結びます。 15回の授業に、予習・復習を十分に行なって、休まず参加してください。 ピアノ曲のテキストについては、個々の進度に応じて、「ブルグミュラー25の練習曲」「ソナチネアルバム」等指導担当者から指示をします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業内を行う確認テスト、小テストおよびピアノ課題については、学生個々に対してよりスキルアップする方法をコメントし、次の課題消化へのヒントとなるようつなげる。 演奏技能は個人差があるので、個別のアドバイスは欠かさない。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業においてプリントと実技の課題により理解度・習熟度を確認する				
	授業内試験	20	ソルフェージュテストおよび理論の筆記テストを実施する				
	定期試験	50	歌唱とピアノの実技試験を行う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	柚木研究室 金曜日 16時10分～17時 その他随時受付 電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	音楽Ⅰの学びの振り返り オリエンテーション 理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(秋の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
2 /	理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(秋の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
3 /	理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(秋の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
4 /	理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(秋の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
5 /	理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(秋の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
6 /	理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(冬の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
7 /	理論・楽譜を読む知識(長音階と調号) ソルフェージュ 童謡(冬の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
8 /	理論・楽譜を読む知識(音程) ソルフェージュ 童謡(冬の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
9 /	理論・楽譜を読む知識(音程) ソルフェージュ 童謡(冬の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
10 /	理論・楽譜を読む知識(音程) ソルフェージュ 童謡(動物の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
11 /	理論・楽譜を読む知識(音程) ソルフェージュ 童謡(動物の歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
12 /	理論・楽譜を読む知識(音程) ソルフェージュ 童謡(夢のある歌) ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習 定期試験歌唱課題曲発表 小テスト実施の告知	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
13 /	理論(小テストに向けた振り返り) ソルフェージュ(小テストに向けた練習) 定期試験歌唱課題曲の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	講義 演習	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
14 /	ソルフェージュ小テスト 定期試験歌唱課題曲の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	演習 ソルフェージュ小テスト	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習 講義ノート作成	210
15 /	理論小テスト 定期試験歌唱課題曲の練習 ピアノ個人レッスン	柚木 松澤 松井 他	演習 理論小テスト	ピアノ曲の練習 ソルフェージュの練習、童謡 の練習	210
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
図画工作 I	深尾 秀一(専 任)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Arts and Crafts I							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択、レクリエーション・インストラクター資格の必修						
授業の到達目標 ・子どもの表現とその発達について理解する。 ・作品制作体験を通して、造形の分野において子どもの表現を積極的に展開できる基本的事項とその要因を理解する。 ・自然や周りの物や造形素材から様々な感覚感触を感じ取り、造形の根幹となる自らの感性を磨き、子どもの表現を支える感性を豊かにする。 ・協働活動から、他者の表現を尊重することの大切さ、および共感することの重要性と楽しみを学び、より豊かな子どもたちの造形表現活動につなげることができる。							
授業の内容 様々な美術展等において現代美術作品を制作発表してきた実務教員が、造形表現における専門的事項について演習形式で授業を行う。 本演習では造形表現の領域に関し、講義と課題作品制作の体験を通して、材料用具の特性や取り扱いを学び、造形表現の楽しさを味わいながら自らの感性や表現力を磨き、幼児の表現の姿やその発達の理解と幼児の感性や創造性を豊かにする様々な表現遊びや環境の構成などについて実践的に学ぶ。 第1回目の授業については、オープンソースのデジタル教材（子どもの絵の発達と道筋）を使用し授業を行う。 なお、授業では、PCやスマートフォンを利用し、Google Classroom を使用し課題提出や評価に使用する。							
教科書	なし						
参考書	子どもの絵の発達と道筋 東山 明（神戸大学名誉教授）『編集：構成 清田哲男・岡山大学大学院准教授』 https://www.nichibun-g.co.jp/data/education/e-other/e-other013/						
担当者からのメッセージ	毎回授業の初めに演習課題についての説明を行うので、しっかりと課題のポイントを理解しておくことが大切である。制作のための汚れてもいい服装などの準備も大事なポイントである。積極的に課題制作に取り組むこと。 第1回目の授業にあたり、オープン教材「子どもの絵の発達と道筋」については各自予習しておくこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題制作作品については、個々評価し返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業に対する主体的な学びを評価する				
	授業内試験	10	理解度確認のためのテストを実施				
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	各課題の、造形表現における基本的事項について評価する				
自由記載							
オフィスアワー	深尾研究室 水曜日 16時10分～17時10分（事前予約が望ましい） その他メールでの質問随時受付 件名に学籍番号氏名を入れること						
担当教員E-mail	h-fukao@sumire.ac.jp（深尾）						
教員相互授業参観	3回目の授業を公開する（参加の2週間前までにご連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 子どもの造形表現について	深尾	講義	子どもの発達と造形表現について、デジタル教材を利用し講義内容をまとめる	90
2 /	造形表現における構成要素について 色、形、空間、時間について	深尾	講義と演習	講義の内容をまとめる 講義の内容を復習しておく	90
3 /	造形表現遊びについて1 絵の具の技法について学ぶ 技法1から12まで	深尾	講義と演習	演習で制作したものを整理し、指導上の注意や環境の設定などをファイルにまとめる	90
4 /	造形表現遊びについて2 道具と絵具を使った技法について学ぶ 技法11から25まで	深尾	講義と演習	演習で制作したものを整理し、指導上の注意や環境の設定などをファイルにまとめる	90
5 /	造形表現遊びについて3 技法についてのファイル完成	深尾	講義と演習	演習で制作したものを整理し、指導上の注意や環境の設定などをファイルにまとめる	90
6 /	水彩絵の具を使って 水彩画表現 具象表現	深尾	演習 課題作品制作	水彩画教材の使い方や環境設定を整理しておく	90
7 /	クレパスによる創造の世界の表現 構想から原画作成	深尾	講義と演習 課題作品制作	次の授業の終わりに作品が完成出来るように作品制作を進める	90
8 /	クレパスによる創造の世界の表現 課題作品制作、完成	深尾	演習 課題作品制作	様々な画集などを参考に完成度を高める資料を収集しておく	90
9 /	身近な素材を使って作品制作1 原案作成 イメージを具体的に形にしてい	深尾	演習 課題作品制作	材料の収集	90
10 /	身近な素材を使って作品制作2 完成 提出	深尾	演習 課題作品制作	構造を考え、完成できるように制作を進めておく	90
11 /	自然や生活との対話1 「色集め、形集め デジタルカメラを使って」 自然や生活の素材から要素を探す	深尾	講義と演習	素材の収集 イメージに合った素材集め	90
12 /	自然や生活との対話2 集めた素材を、整理してICTを使って提出	深尾	演習	素材の収集 イメージに合った素材集め	90
13 /	地域の文化と造形素材 「粘土」 粘土について学び、感じる	深尾	講義と演習	地域における文化を理解しておく 素材の特色や扱いをまとめておく	90
14 /	土粘土遊びから「夢の世界」の創造へ	深尾	演習 グループワーク	協働作業における共感の意義と課題等をまとめておく	90
15 /	多様な子どもたちの造形表現について & 総括 (小テスト)	深尾	講義	前期授業を総括しまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児体育 I (A・D)	山中 博史(専任) 村井 愛美(非常勤)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Physical Education and Exercise for Children I							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修、レクリエーション・インストラクター資格の選択						
授業の到達目標 ・子どもの遊びが運動やスポーツにどのように発展していくのかを理解する。 ・子どもの遊びを安全にかつ楽しく指導するための指導技術を身につける。 ・できない事ができた時の喜びや達成感、できない時のくやしさを理解・共有することができる。							
授業の内容 幼児期の運動あそびや表現あそびは、身体や運動能力の発育・発達のみならず、社会性や情緒の発達にも深く関係しており、これらの子どもの活動への保育者の関わりは、子どもの全人的な育ちに影響を及ぼすことが考えられる。特に幼少期において様々な動きを経験することは、その後の子どもと運動との関わりを維持し、身体的・精神的な発展の可能性を拓くベースである。 本講義は、運動あそび領域と身体表現領域で構成し、全15回の開講を初回のオリエンテーション、運動領域（7回）、身体表現領域（7回）に振り分ける。 <運動あそび領域の概要> 教員職員免許法で定められている専門科目としての体育である。教材としては、小学校中学年程度の体操、縄跳び、かけっこ、鬼ごっこ、マット遊び、鉄棒、跳び箱、ボール遊び等である。子どもたちの遊びの中で、これらの教材をどのように取り上げていけばよいのか、またそれらを行う上での指導方法や、指導上の留意点、安全面、補助の仕方、相互協力、教材の中での表現などを演習する。 <身体表現領域の概要> 保育者として幼児向けのダンス教材を踊れるようになることと、即興表現を通して表現のレパートリーを増やすことから、保育者に必要な身体表現の基礎技能としてのダンス表現的な身体の動きを演習する。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	積極的に自分の意見や考え方をもち、受け身ではなく積極的に授業に参加すること。 子どもの気持ちになって身体を動かしてみること。 授業開始時には着替えて筆記用具持参の上、集合していること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実技試験を課す種目もある。 毎回のノートは最後に提出してもらいます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	30	実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート	20	演習を振り返り、レポートを提出				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30～18時（山中） 授業終了後に体育館で質問を受け付ける（村井）						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp（山中）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 授業内容の概要の説明、受講上の留意点、諸注意など	山中 村井	講義(教室)	全体の内容の把握と次回への準備	90
2 /	体操 集合のさせ方、準備体操、号令体操、リズム体操、ストレッチの指導法	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
3 /	動きのトレーニング(姿勢とポーズ)	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理、課題の取り組み	90
4 /	鬼ごっこ 様々な種類の鬼ごっこの指導法 かけっこ 遊びの中でのかげっこや運動会で行うリレー タイム計測の仕方	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
5 /	リズム表現(1) 一幼児に合わせた振付を考えるー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
6 /	縄遊び、縄跳び 短縄、長縄を使ったいろいろな種類のこっこ遊び 各種跳び方の実践	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
7 /	リズム表現(2) 一課題のダンスを踊るー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
8 /	マット遊び お布団の感覚でマットになじませ、こっこ遊びから色々な運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
9 /	即興表現(1) 一動きのレパートリーを見つけるー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
10 /	鉄棒遊び ぶら下がる事から、振る、回るなどの運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
11 /	即興表現(2) 一音に合わせて表現するー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
12 /	跳び箱遊び 跳び箱の上に跳び乗り、跳び下りるという運動から色々な運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
13 /	即興表現(3) 一楽曲に合わせて表現するー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
14 /	ボール遊び つかむ、転がす、つく、投げる、蹴る、という基本的な動きを使った遊び ボールゲーム 主にドッチボールの指導法	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
15 /	課題の取り組み	村井	実技試験	実技試験	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児体育 I (B・C)	山中 博史(専任) 村井 愛美(非常勤)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Physical Education and Exercise for Children I							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修、レクリエーション・インストラクター資格の選択						
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・子どもの遊びが運動やスポーツにどのように発展していくのかを理解する。 ・子どもの遊びを安全にかつ楽しく指導するための指導技術を身につける。 ・できない事ができた時の喜びや達成感、できない時のくやしさを理解・共有することができる。 							
授業の内容							
<p>幼児期の運動あそびや表現あそびは、身体や運動能力の発育・発達のみならず、社会性や情緒の発達にも深く関係しており、これらの子どもの活動への保育者の関わりは、子どもの全人的な育ちに影響を及ぼすことが考えられる。特に幼少期において様々な動きを経験することは、その後の子どもと運動との関わりを維持し、身体的・精神的な発展の可能性を拓くベースである。</p> <p>本講義は、運動あそび領域と身体表現領域で構成し、全15回の開講を初回のオリエンテーション、運動領域（7回）、身体表現領域（7回）に振り分ける。</p> <p><運動あそび領域の概要> 教員職員免許法で定められている専門科目としての体育である。教材としては、小学校中学年程度の体操、縄跳び、かけっこ、鬼ごっこ、マット遊び、鉄棒、跳び箱、ボール遊び等である。子どもたちの遊びの中で、これらの教材をどのように取り上げていけばよいのか、またそれらを行う上での指導方法や、指導上の留意点、安全面、補助の仕方、相互協力、教材の中での表現などを演習する。</p> <p><身体表現領域の概要> 保育者として幼児向けのダンス教材を踊れるようになることと、即興表現を通して表現のレパートリーを増やすことから、保育者に必要な身体表現の基礎技能としてのダンス表現的な身体の動きを演習する。</p>							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	積極的に自分の意見や考え方をもち、受け身ではなく積極的に授業に参加すること。 子どもの気持ちになって身体を動かしてみること。 授業開始時には着替えて筆記用具持参の上、集合していること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実技試験を課す種目もある。 毎回のノートは最後に提出してもらいます。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	演習に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	30	実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート	20	演習を振り返り、レポートを提出				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30～18時（山中） 授業終了後に体育館で質問を受け付ける（村井）						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp（山中）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 授業内容の概要の説明、受講上の留意点、諸注意など	山中 村井	講義(教室)	全体の内容の把握と次回への準備	90
2 /	動きのトレーニング(姿勢とポーズ)	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
3 /	体操 集合のさせ方、準備体操、号令体操、リズム体操、ストレッチの指導法	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理、	90
4 /	リズム表現(1) 一幼児に合わせた振付を考えるー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
5 /	鬼ごっこ 様々な種類の鬼ごっこの指導法 かけっこ 遊びの中でのかっこや運動会で行うリレー タイム計測の仕方	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
6 /	リズム表現(2) 一課題のダンスを踊るー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
7 /	縄遊び、縄跳び 短縄、長縄を使ったいろいろな種類のごっこ遊び 各種跳び方の実践	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
8 /	即興表現(1) 一動きのレパートリーを見つけるー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
9 /	マット遊び お布団の感覚でマットになじませ、ごっこ遊びから色々な運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
10 /	即興表現(2) 一音に合わせて表現するー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
11 /	鉄棒遊び ぶら下がる事から、振る、回るなどの運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
12 /	即興表現(3) 一楽曲に合わせて表現するー	村井	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理	90
13 /	跳び箱遊び 跳び箱の上に跳び乗り、跳び下りという運動から色々な運動に発展させる	山中	演習(体育館)	内容の予習及びノートの整理 課題の取り組み	90
14 /	課題の取り組み	村井	演習(体育館)	実技試験	90
15 /	ボール遊び つかむ、転がす、つく、投げる、蹴る、という基本的な動きを使った遊び ボールゲーム 主にドッジボールの指導法	山中	実技試験	内容の予習及びノートの整理	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児体育Ⅱ	北尾 岳夫(専 任)	1年次	後期	1	演習	必修	実務経験
Physical Education and Exercise for Children Ⅱ							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の選択						
授業の到達目標 ・ 幼児期の発育発達を踏まえた“運動遊び”の指導に関する理論が分かる。 ・ 幼児期の“運動遊び”の指導計画が立てられる。							
授業の内容 この授業は、幼児期の運動遊びに関する理論をテーマとし、子どもの全人的な発育発達に結びつく運動遊びの理論的な側面について学ぶ。幼児期の子どもが全身を使って遊ぶ運動遊びは、身体や運動能力の発育発達のみならず社会性や心の発達、さらには知的な発達にも深く関係しており、子どもの全人的な育ちに影響を及ぼすことが考えられる。特に幼少期における様々な動きの経験は、その後の子どもと運動との関係をつなぐだけでなく、身体的・精神的な成長の可能性を拡げるベースとなるものである。子どもの育ちに関わる保育者として、子どもの発育発達や運動について理解し、運動をととして子どもの身体的・精神的な発達を保証した関わりができることが重要であることは言うまでもない。試験は記述式とし、論旨が不明確な解答は採点しない。また、試験で60点に達していない場合は単位認定とならない。							
教科書	『保育と幼児期の運動あそび』 岩崎洋子・吉田伊津美・朴 淳香・鈴木康弘 編著 (萌文書林) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	短大での学びのなかで、論理的思考や文章表現力を磨いておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	Google Classroom を利用して、複数回の課題(小テスト含む)に取り組むことを求める。質問等に対するフィードバックは、その内容に応じて Google Classroom を通じて、もしくは通常授業時に行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業中の不適切行為に対する減点				
	授業内試験						
	定期試験	60	記述式試験				
	レポート						
	その他	30	Google Classroom を利用した課題				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時30分～13時00分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp (北尾)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	授業内容全体の理解	北尾	講義	授業の内容を整理する	90
2 /	運動はなぜ幼児に大切(必要)か ～幼児期の運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
3 /	運動はなぜ幼児に大切(必要)か ～運動能力検査からみた課題～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
4 /	運動はなぜ幼児に大切(必要)か ～身体発達と運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
5 /	運動はなぜ幼児に大切(必要)か ～動きの発達と運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
6 /	運動はなぜ幼児に大切(必要)か ～心の発達と運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
7 /	運動はなぜ幼児に大切(必要)か ～社会性(ルール)の発達と運動～ ～知的な発達と運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
8 /	遊びと運動 ～生活としての運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
9 /	遊びと運動 ～遊びの中の運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
10 /	遊びと運動 ～動機づけと運動～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
11 /	運動指導のポイント ～運動量を考える～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
12 /	運動指導のポイント ～運動の質を考える～ ～環境を工夫する～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
13 /	運動指導のポイント ～安全を考える～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
14 /	運動指導のポイント ～援助の仕方を考える～ ～遊びの変化や発展を考える～	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
15 /	運動に関わる現代的課題	北尾	講義と演習及び質疑応答	次回テキスト範囲を事前に通読しておく	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
情報処理基礎 I	林 泰子(非常勤)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
Basic Information Processing I							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットによる情報検索、メールの送受信ができる。 ・ワープロソフトの基本操作ができる。またワープロソフトを用いて指導案等の作成ができる。 ・情報倫理に関する理解を深めた上で、SNS等のインターネットを利用することができる。 ・ワープロソフトを用いて業務に必要な文書を作成することができる。 							
授業の内容 <p>高度情報通信社会において、あふれる情報の中で情報を主体的に選択・活用し、情報の受信・発信の基本的ルールを身に付けることは一層重要なものとなっている。本講義では、コンピュータリテラシーと情報活用能力を養成することを目的とし、ワープロソフトを用いた指導案等や業務文書の作成、インターネットを利用した効率的な情報収集の方法、情報倫理に関して講義、演習、アクティブ・ラーニング学習等を行う。</p>							
教科書	『保育者のためのパソコン講座—Windows10/8.1/7 Office2010/2013/2016対応版』 阿部正平・阿部和子・二宮祐子（萌文書林） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	きっちり出席し、授業中の課題をしっかりとこなしていきましょう。そしてパソコン等を活用してさまざまなことが出来るようになっていきましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroomを使用し、課題提出をしてもらいます。そして、Google Classroomを使用し、フィードバックします。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	提出された授業中課題を評価する				
	授業内試験	40	授業中にコンピュータを使った実技試験を行う				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	y.hayashi@ashiya-u.ac.jp（林）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p> <p>(幼DP12)【態度・志向性】 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション パソコンの基本的な操作方法	林	講義とパソコンを用いた演習	パソコンの基本的な操作方法を復習する	60
2 /	インターネットによる情報検索	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
3 /	電子メールとコミュニケーション	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
4 /	ワープロソフトの基礎	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
5 /	ワープロソフトと文字入力	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
6 /	ワープロソフトと図形	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
7 /	ワープロソフトと画像(写真など)	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
8 /	簡単なおたよりの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
9 /	図表が入ったおたよりの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
10 /	やや複雑なおたよりの作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
11 /	簡単な指導案の作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
12 /	やや複雑な指導案の作成	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
13 /	ワードの実技試験	林	パソコンを用いた実技試験	講義で学んだことを振り返り総復習する	60
14 /	情報倫理とインターネット	林	講義、パソコンを用いた演習、アクティブ・ラーニング	講義で学んだことを復習する	60
15 /	まとめ	林	講義とパソコンを用いた演習	講義で学んだことを復習する	60
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
教育原理	李 霞(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Principles of Education							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・教育の意義、機能、目的、方法や、教育と児童福祉との関連性を正しく理解する。 ・教育の思想と歴史的変遷について学び、教育の基本的な理念と理論についての理解を深める。 ・学校、教師、就学前教育等に関する諸制度の基本を理解する。 ・生涯学習社会における教育の現状と課題について自ら考える。 ・地域との連携・協働による学校教育の意義・方法を理解する。 ・学校安全への対応に関する基礎的知識を身につける。 							
授業の内容 <p>この科目は、教育職員免許法の科目区分では、「教育の基礎理論」の中の「教育理念に関する科目」に該当する。本授業は、人間の生涯発達における教育の意義・目的、子ども観・教育観の変遷や、日本・諸外国の教育の歴史・現在、教育制度をはじめとした教育に関する全般的な事柄の理解とともに、教育と児童福祉との関連性や現代社会の教育課題などについて理解を深めることを目的とする。加えて、子どもの教育に携わる者としてのあり方について自ら省察する態度の育成を目指す。</p> <p>講義（視聴覚教材を含む）を中心に、個人ワークやグループワークも取り入れる。</p>							
教科書	『コンパクト版保育者養成シリーズ『教育原理』 谷田貝公昭監修、石橋哲成編集（一藝社） 価格（本体2,000円＋税）						
参考書	田嶋一・中野新之祐編『やさしい教育原理』有斐閣 改訂・保育士養成講座編纂委員会編『教育原理』全国社会福祉協議会 ほか						
担当者からのメッセージ	講義内容について、常に「自分はどう思うか」「自分ならどうするか」を考えながら受講すること。 毎回授業の終わりにその時間に学んだことや考えたことをミニレポートにまとめて授業を終了する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回、授業を受けた感想を一枚ポートフォリオに書いてもらう。回収したポートフォリオや復習用ワークシートの添削を行い、次の授業時に学生に返却する。授業内容に対する学生たちの理解を深めるために、学生の中でよくできた感想や模範解答を授業開始時にスライドにて紹介する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	ポートフォリオの記入内容や予習・復習用のワークシートを評価の対象である				
	授業内試験						
	定期試験	40	授業の内容全般についての理解度を評価する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	李研究室 月、火、水曜日 12時15分～12時50分						
担当教員E-mail	k-lee@sumire.ac.jp (李)						
教員相互授業参観	第1回～第4回公開（2週間前に連絡ください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	「教育とは何か」	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 次回の授業のために、教科書の第1章を読み、予習用ワークシートを完成してもらう	90
2 /	学校の成り立ち	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 授業内容の定着を図り、復習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
3 /	日本の学校	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	復習 次回の授業時に、第1～3回の授業内容に関する小テストを行うため、復習するよう指示する	120
4 /	諸外国の教育理論	李	小テスト・講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第11章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
5 /	日本の教育理論・幼児教育の理論	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第10章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
6 /	西洋の子ども観と教育観の変遷	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを完成するよう指示する	60
7 /	日本の子ども観と教育観の変遷	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第4章を事前に読んでおく 次回小テストのため第4～7回の授業内容を復習する	120
8 /	諸外国の教育制度	李	小テスト・講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第9章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
9 /	日本の教育制度	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第8章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
10 /	教師の仕事	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 教科書の第5章をよみ、予習用ワークシートを完成してもらう	90
11 /	保育者の役割	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを完成しておく 次回小テストのため第8～11回の授業内容を復習する	60
12 /	教育を受ける権利と「子どもの権利条約」	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
13 /	教育と児童福祉との関連性	李	講義及びグループワークを踏まえた質疑応答	予習 予習用ワークシートを配り、完成してもらう	60
14 /	学校と地域との連携	李	グループ発表及びまとめ	予習 教科書の第14章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
15 /	学校安全への対応	李	グループ発表及びまとめ	予習 教科書の第15章をよみ、予習用ワークシートを完成するよう指示する	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育原理	永久 欣也(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
Principles of Child-care							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・保育について、思想、歴史、乳幼児の存在論、現代社会における現状・課題といった観点から考える。 ・保育に関する諸課題を認識し、自分の考え等を筋道立てて言語化することができる。 ・保育の本質をとらえ、具体的ななかかわりの基本を身につける。							
授業の内容 「保育とは何か」を考えるため、その思想や歴史を手がかりに、現代社会における保育・子育ての現状と課題にも向き合いながら、乳幼児の保育・教育に人間存在の原点を見出していく。また、保育者の専門性を深めるための基礎概念を学び、現代に求められている「保育」の意味を考察する。							
教科書	『新基本保育シリーズ1 保育原理』 天野珠路・北野幸子編集 (中央法規) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	保育所保育指針・幼稚園教育要領・幼保連携型認定こども園教育保育要領ほか随時授業にて紹介						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎。また、新聞やニュースなどの「保育」に関する時事的な事柄にも関心を深めてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点やさらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	30	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】		保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 保育の理念・保育の概念	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
2 /	保育の社会的役割と責任	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
3 /	保育の制度的位置づけについて	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
4 /	保育所保育指針と保育の基本	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
5 /	保育の目標と方法	永久	講義 課題の提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
6 /	保育と子育て支援	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
7 /	3歳未満児の保育について	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
8 /	子ども理解と保育の方法1 「保育の基本はあそびから」	永久	講義	復習 授業の内容を振り返りポイントを整理する	180
9 /	子ども理解と保育の方法2 「様々な保育形態と保育方法」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
10 /	保育と指導計画	永久	講義 課題の提出	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
11 /	諸外国の保育思想と歴史 「古代から現代まで」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
12 /	諸外国の保育の現状と課題	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
13 /	日本の保育思想と歴史 「古代から現代まで」	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
14 /	日本の保育の現状と課題	永久	講義	授業内容の振り返りと要点を整理する 次回講義への予習	180
15 /	まとめ	永久	講義	これまでの授業内容の総復習	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
総合表現 I (A・C)	松井 典子(専 任) 村井 愛美(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Method of Integrated Expression I							
資格等取得との関連	保育士資格の選択、レクリエーション・インストラクター資格の選択						
授業の到達目標							
<ul style="list-style-type: none"> ・保育内容・領域「表現」の基本的な知識を身につける。 ・ことば・音を中心とした音楽表現や身体の動きと音及びリズムを中心とした身体表現のさらなる知識を加えた総合的な実践力を身につける。 ・乳幼児期の発達と表現を理解している。 ・様々な表現を感じる、みる、聴く、楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。 ・基本的な演習課題に取り組みながら表現について学び、作品や発表にまとめる中で総合表現のあり方を考える。 							
授業の内容							
<p>総合表現 I では、オープンリソースを活用し授業を実施する。また、適宜Google classroomを用いた双方向型授業を実施する。</p> <p>国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員が担当する(松井)。</p> <p>乳幼児の表情、身振り、しぐさ等の表現的行為から、身体の動きや音とことば、音とリズムを中心とした表現まで総合的に捉え、豊かな感性と創造性に深く関わる領域「表現」をもとにいろいろな要素を加えながら、演習の中で幼児の表現の特性を学ぶ。また、基礎的な演習に取り組みながら保育者としての感性を磨き、表現能力を養う。表現とは何か、表現は保育の中でどのような意味を持つのか、表現を育てるとはどのようなことなのかを学び、保育者の役割を考え、基礎的な指導力を養う。</p> <p>表現の理解を深める目的で、授業内で発表する場を設け、実践から人前で表現することに慣れ、コミュニケーション力をさらに高めることをねらいとする。</p> <p>具体的な発表内容は、授業時に提示する</p> <p>A分野・・・音とことば・音楽を中心とした表現 B分野・・・身体の動きによる表現</p>							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 袖木たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格 (本体2,100円+税)						
参考書	A分野「表現者を育てるための保育内容「音楽表現」」 編者石井玲子 (教育情報出版) 価格 (本体2,270円+税)						
担当者からのメッセージ	<p>A分野では教科書と講義レジュメによって授業を行う。レジュメは必ずファイリングしておくこと。</p> <p>B分野では運動できる服装で出席する事。</p> <p>総合表現 I では主にグループワークを行うので、積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてほしい。</p> <p>最終発表では、他者の表現を観察し、学び合い、さまざまな表現をおとして豊かな感性を磨いてほしい。</p>						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業の取り組み度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	授業の振りシートへの記録および提出				
	その他	20	各担当教員の発表課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～12時50分 村井 授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	8、15回を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	A分野 B分野共通 ガイダンス 今後の授業計画について 身体表現と音楽表現	松井 村井	演習	演習内容の復習	90
2 /	A分野 乳幼児期の音(楽器)との出会い	松井	演習	講義及び演習内容の復習	90
3 /	A分野 音遊び1 保育における楽器遊びとは	松井	講義と演習	講義及び演習内容の復習	120
4 /	A分野 音遊び2 さまざまな楽器を知る	松井	講義と演習	講義及び演習内容の復習	120
5 /	A分野 音遊び3 楽器を使った表現遊び	松井	講義と演習	講義及び演習内容の復習	120
6 /	A分野 楽器を使った表現発表の準備1	松井	講義と演習 グループ発表の練習	演習内容の復習 グループ発表の討議内容をまとめる	120
7 /	A分野 楽器を使った表現発表の準備2 リハーサル	松井	講義と演習 グループ発表の練習	グループ発表の討議内容をまとめる	120
8 /	A分野 まとめ 発表会	松井	グループ発表	授業内容をまとめる レポート提出	90
9 /	B分野 乳幼児期の心身の発育・発達について	村井	講義と演習 グループワーク	第1回の振り返りをしておく	90
10 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動と指導法	村井	講義と演習 グループワーク	配付プリントの復習 演習課題をまとめる	120
11 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動	村井	講義と演習 グループ練習	配付プリントの復習 演習課題をまとめる	120
12 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動	村井	講義と演習 グループ練習	演習課題をまとめる 最終発表の討議内容をまとめる	120
13 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動	村井	講義と演習	演習課題をまとめる	120
14 /	B分野 グループ発表のリハーサル	村井	グループ発表のリハーサル	グループ発表の討議内容をまとめる レポートをまとめる	120
15 /	B分野 まとめ 発表会	村井	演習 グループ発表	授業内容を整理してまとめる レポート提出	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
総合表現 I (B・D)	松井 典子(専 任) 村井 愛美(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Method of Integrated Expression I							
資格等取得との関連	保育士資格の選択、レクリエーション・インストラクター資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・保育内容・領域「表現」の基本的な表現の知識を身につける。 ・ことば・音楽を中心とした音楽表現や身体の動きと音及びリズムを中心とした身体表現のさらなる知識を加えた総合的な実践力を身につける。 ・乳幼児期の発達と表現を理解している。 ・様々な表現を感じる、みる、聴く、楽しむことを通してイメージを豊かにすることができる。 ・基本的な演習課題に取り組みながら表現について学び、作品や発表にまとめる中で総合表現のあり方を考える。 							
授業の内容 <p>総合表現 I では、オープンソースを活用し授業を実施する。また、適宜Google classroomを用いた双方向型授業を実施する。</p> <p>国際バカロレア (IB) 認定校のプライマリー・イヤーズ・プログラム (PYP) において幼児音楽教育の実務経験を持つ教員が担当する(松井)。幼稚園において幼児の身体表現活動の実務経験を持つ教員が担当する(高橋)。</p> <p>乳幼児の表情、身振り、しぐさ等の表現的行為から、身体の動き、音とことば、音とリズムを中心とした表現まで総合的に捉え、豊かな感性と創造性に深く関わる領域「表現」をもとにいろいろな要素を加えながら、演習の中で幼児の表現の特性を学ぶ。また、基礎的な演習に取り組みながら保育者としての感性を磨き、表現能力を養う。表現とは何か、表現は保育の中でどのような意味を持つのか、表現を育てるとはどのようなことなのかを学び、保育者の役割を考え、基礎的な指導力を養う。</p> <p>表現の理解を深める目的で、身体表現と音楽表現が融合した作品を授業内で発表する場を設け、実践から人前で表現することに慣れ、コミュニケーション力をさらに高めることをねらいとする。</p> <p>具体的な発表内容は授業時に提示する。</p> <p>音とことば・音楽を中心としたA分野と、身体の動きによる表現のB分野の両方の授業を受ける(クラスによりB分野を先に受講する)。</p> <p>A分野・・・音とことば・音楽を中心とした表現 B分野・・・身体の動きによる表現</p>							
教科書	『子どもの音楽表現・うたあそび』 木村たまみ 松井典子他 (三学出版) 価格(本体2,100円+税)						
参考書	A分野「表現者を育てるための保育内容『音楽表現』」 編者石井玲子 (教育情報出版) 価格(本体2,270円+税)						
担当者からのメッセージ	A分野では教科書と講義レジュメによって授業を行う。レジュメは必ずファイリングしておくこと。 B分野では運動できる服装で出席する。 総合表現 I では主にグループワークを行うので、積極的に授業に参加し、コミュニケーション力を身につけてほしい。 授業では、他者の表現活動を観察し、学び合い、さまざまな表現活動をととして豊かな感性を磨いてほしい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業の取り組み度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	20	各教員が授業内に提示した課題を提出				
	その他	20	授業後のコメントカード等の記録および提出				
自由記載							
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分~12時50分 村井 授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	8、15回を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	A分野、B分野共通 ガイダンス 今後の授業計画について 身体表現と音楽表現	松井 村井	演習	講義内容の復習	90
2 /	B分野 乳幼児期の心身の発育・発達について	村井	講義と演習 グループワーク	第1回の振り返りをしておく 演習課題をまとめる	90
3 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動と指導法	村井	講義と演習 グループ練習	配付プリントの復習 講義内容をまとめる	120
4 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動	村井	講義と演習 グループ練習	配付プリントの復習 演習課題、グループ発表の討 議内容をまとめる	120
5 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動	村井	グループ発表 グループ討議	演習課題をまとめる 発表の討議内容をまとめる	120
6 /	B分野 実践例をもとに、身体を操る活動	村井	講義と演習	演習課題をまとめる	120
7 /	B分野 グループ発表のリハーサル	村井	講義と演習	グループ発表の討議内容をま とめる レポートをまとめる	120
8 /	まとめ グループ発表	村井	グループ発表	授業内容を整理してまとめる レポート提出	120
9 /	A分野 乳幼児期の音(楽器)との出会い	松井	講義と演習	講義及び演習内容の復習	120
10 /	A分野 音遊び1 保育における楽器遊びとは	松井	講義と演習	講義及び演習内容の復習	120
11 /	A分野 音遊び2 さまざまな楽器を知る	松井	講義と演習	講義及び演習内容の復習	120
12 /	A分野 音遊び3 楽器を使った表現遊び	松井	講義と演習	演習課題の復習	120
13 /	A分野 楽器を使った表現発表の準備1	松井	講義と演習 グループ発表の練習	グループ発表の討議内容をま とめる	120
14 /	A分野 楽器を使った表現遊びの準備2 リハーサル	松井	演習 グループ発表の練習	グループ発表の討議内容をま とめる レポートをまとめる	120
15 /	A分野 まとめ 発表会	松井	グループ発表	授業内容をまとめる レポート提出	120
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法(表現)	三上 佳子(専 任)・深尾 秀一(専 任) 柚木たまみ(専 任)・松井 典子(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Instruction Method of area (Expression)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修、レクリエーション・インストラクター資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領における幼稚園教育の基本、各領域のねらい及び内容並びに全体構造を理解している。 ・当該領域のねらい及び内容を踏まえ、幼児が経験し身に付けていく内容と指導上の留意点を理解している。 ・幼稚園教育における評価の考え方を理解している。 ・各領域の特性や幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育の構想に活用することができる。 ・指導案の構成を理解し、具体的な保育を想定した指導案を作成することができる。 ・模擬保育とその振り返りを通して、保育を改善する視点を身につけている。 							
授業の内容 <p>幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、領域指導法（表現）を指導する。</p> <p>Google Classroomを用いた双方向型授業を実施する。また、情報リソースを活用し、授業を行う。</p> <p>幼稚園教育において育みたい資質・能力を理解し、幼稚園教育要領に示された当該領域のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深めるとともに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえて具体的な指導場面を想定して保育現場での勤務経験を有する教員が現場の実践事例を折り込みながら保育を構想する方法を身につける。保育内容の各領域を総合的に捉え表現活動を中心に乳幼児の実態に応じた保育内容の展開や指導法を学び、身体の動きや五感、音やリズム、ものの色や形や質感など様々な表現のツールを用いて表現活動の特徴や面白さを確認し応用や発展を考え実践を重ね、総合的な表現活動を構想、計画、指導、実践できる力を身に付ける。学生が各々実践した内容は、課題ごとに毎回細かく考察をレポートとして提出して、最後には全課題をドキュメンテーション（レポート）としてまとめを提出する。</p>							
教科書	『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体320円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	制作・音楽リズム等に関しては、幼児期の自分を思い出して、のびのびした発想で表現について考えてください。積極的な態度を評価します。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	作品課題に関してはお互いの作品を観ながら発想の面白さや表現方法、表現技術などを学んでいく。各自のレポートに関しては、定期的に点検して指導を入れていく。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	60	提出課題				
	その他	20	模擬保育課題				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 松井研究室 火曜日 12時15分～12時50分 柚木研究室 金曜日 12時20分～12時50分 深尾研究室 水曜日 12時20分～12時50分 ※その他随時受付 ※電子メールによる事前予約が望ましい						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp（三上） h-fukao@sumire.ac.jp（深尾） t-yunoki@sumire.ac.jp（柚木） n-matsui@sumire.ac.jp（松井）						
教員相互授業参観	14回目を公開する						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 領域「表現」のねらいと内容について、乳幼児の表現する姿を関連付けることを通して理解する	三上 深尾 柚木 松井	講義	指定の教科書等を読んでおく	90
2 /	幼児の表現あるいは表出について具体的な場面を挙げ、その表現の背景や要因を考察し、さらに幼児の表現が広がる指導方法を考える	三上	講義 演習	子どもの表現行為について下調べしておく	90
3 /	論文やインターネットから国内外の表現活動の実践例や、多様な幼児の表現活動におけるインクルーシブ保育の動向や可能性、そして課題などを理解し自らの保育構想を組み立てる	深尾	講義 演習	授業内容をまとめる	90
4 /	自然(光、風)や自然物を使い、幼児の総合的な表現活動を実践し、素材に関する特性や面白さ、留意点などを考える	深尾	講義 演習	素材の重要性についてレポートをまとめる	90
5 /	身近な素材、リサイクル素材や廃材を用いた幼児の総合的な表現活動の実践から身近にある素材に関する特性や面白さ、留意点などを考える	深尾	講義 演習	素材の重要性についてレポートをまとめる	90
6 /	幼児の表現と小学校との関わりについて学びの連続性を理解し、具体的な実践方法を考える	松井	講義 演習	講義内容をまとめる	90
7 /	幼児の表現活動に関する音楽教育メソッド(オルフ・コダーイ・ダルクローズ)を応用し、保育実践に活用できるアイデアを考える	松井	講義 演習	講義内容をまとめる 配付プリントを読み、事前学習をしておく	90
8 /	幼児を取り巻く身近な音や楽器との関わり、音環境について様々な事例を通して学び、保育実践での留意点などを考える	松井	講義 演習	講義内容をまとめる 「音環境」についてレポートを提出	90
9 /	五感を使った総合的な表現活動を実践し、活動の特徴や面白さ、留意点などを考える(音を聴いて・匂いを嗅いで、色や形、身体で表現するなど)	柚木	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
10 /	インクルーシブ保育における表現活動や遊びの可能性について、様々な素材を用いた具体的な事例を通して理解し、保育構想への活用を考える	柚木	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
11 /	手足、身体を用いた総合的な表現活動を実践し、特徴や面白さ、留意点などを考える。表現における情報機器と教材の活用法について事例から学び、保育構想に活用できるアイデアを考える	柚木	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
12 /	年齢による発達や環境等の様々な要因を考え、表現活動や遊びを広げるための言葉かけや教材の提示方法、環境をふまえた指導案をグループで考える	三上	講義 演習	総合的な指導案作りのため今までの授業を振り返り整理しておく	90
13 /	総合的な表現活動を実践するために、グループで作成した指導案に沿って教材研究を進める	三上 深尾 柚木 松井	講義 演習 グループ活動	実践に向かい教材の完成度を高める	90
14 /	グループで総合的な表現活動を模擬保育の形で実践し改善する また活動をICT機器や映像機械で記録、共有することの重要性について考える	三上 深尾 柚木 松井	講義 演習 グループ発表	実践を通して、制作した教材について考察する	90
15 /	実践の振り返りと全課題をドキュメンテーション(レポート)としてまとめ提出する	三上 深尾 柚木 松井	講義	それぞれの課題のレポートを綴じてまとめのレポートを作成する	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法（言葉）	保田 恵莉(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Instruction Method of area (Language)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・幼稚園教育要領に示された幼稚園教育の基本を踏まえ、「言葉」のねらい及び内容並びに全体構造を理解する。 ・領域「言葉」のねらい及び内容を踏まえ、幼児が言葉を獲得する過程を理解し、指導上の留意点を理解する。 ・幼児一人ひとりの発達に応じた適切な援助の方法について、具体的な指導場面を想定して、保育を構想する実践力を身につける。 ・領域「言葉」のねらい及び内容を理解したうえで、幼児の体験との関連を考慮した情報機器及び教材の活用法を理解し、保育構想に活用することができる。 ・指導案の構造を理解し、具体的な保育を構想した指導案を作成することができる。 							
授業の内容 <p>保育、幼児教育において育みたい資質・能力を理解し、領域「言葉」のねらい及び内容について背景となる専門領域と関連させて理解を深める授業を展開する。さらに、幼児の発達に即して、主体的・対話的で深い学びが実現する過程を踏まえ、具体的な指導場面を想定し、保育を構想する方法を身につける。</p>							
教科書	『保育所保育指針解説』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体320円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『認定こども園教育・保育要領解説』 内閣府、文部科学省、厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	必要に応じてプリントを配付する。A4サイズのノートを用意すること。毎時、授業の振り返りを用紙に記入し提出する。ノート、プリントは最後に記録の綴りとして提出を課す提出課題は期日を守り提出すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験	50	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	30	毎時授業後の小レポート				
	その他	20	ノート、絵本リスト、教材成果物、指導計画作成課題の提出				
	自由記載						
オフィスアワー	保田研究室 木曜日 13時00分～14時30分 事前に連絡してください 質問などは、授業終了後にも受け付けます						
担当教員E-mail	e-yasuda@sumire.ac.jp（保田）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>（幼DP1）【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>（幼DP2）【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>（幼DP3）【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p> <p>（幼DP4）【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	領域「言葉」のねらい及び内容	保田	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	乳児の言葉の発達過程	保田	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	幼児の言葉の発達過程	保田	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	言葉が育つ環境と保育者の役割	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
5 /	ごっこあそびの指導 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
6 /	言葉あそびの指導 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	指導計画作成	90
7 /	言葉をはぐくむ保育教材の理解（1） わらべうた	保田	講義 演習 課題を提出	講義内容をまとめる	90
8 /	わらべうたあそびの指導 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	指導計画作成	90
9 /	言葉をはぐくむ保育教材の理解（2） 絵本＜教材研究＞	保田	講義 演習 課題を提出	教材研究	90
10 /	絵本の読み語り演習 ＜指導計画作成と模擬保育＞	保田	講義 演習	指導計画作成	90
11 /	児童文化財の意義と幼児の物語体験 ＜教材研究＞	保田	講義 演習 課題を提出	講義内容をまとめる	90
12 /	領域「言葉」に関する指導案の作成 ＜指導計画作成＞	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
13 /	言葉に遅れや障害がある幼児の理解と援助	保田	講義 演習	講義内容をまとめる	90
14 /	多文化共生について	保田	講義 演習 ノート提出	講義内容をまとめる	90
15 /	学習の振り返りとまとめ	保田	講義	講義内容をまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法(環境)	久米 央也(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Instruction Method of area (Environment)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・環境を通して行う幼稚園教育の考え方、領域「環境」のねらい及び内容を理解し、発達の理解に基づいた評価の考え方・活かし方を理解する。 ・様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを生活に取り入れていこうとする保育のあり方を「事例」をもとに理解する。 ・領域「環境」のねらいを踏まえた指導案作成や模擬授業を通して、幼児や保育者の動きが見える具体的な保育を構想する力を身につける。 ・領域「環境」の学びが小学校以降の学びとどのように接続しているかについて理解する。 ・現在社会の幼児を取り巻く動向を知り保育構想に生かすことができる。							
授業の内容 本授業では、学生が自然や生き物身近な素材等に直接関わる経験を多く取り入れ、実際の保育場面を想定した保育を構想し指導法を身に付けていく。その過程を通じて、幼稚園教育要領に示された領域「環境」のねらい及び内容について理解を深め、保育実践力を高めていく。 この講義では、ノートパソコンを使用する。							
教科書	『保育所保育指針解説』 労働厚生省（フェレール館） 価格（本体320円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フェレール館） 価格（本体240円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省・厚生労働省（幼保連携型認定こども園教育・保育要領） 価格（本体350円＋税）						
参考書	『保育実践に生かす保育内容「環境」』 高内正子 上中修（保育出版社） 価格（本体2270円＋税）						
担当者からのメッセージ	この授業では、子どもの好奇心や探求心を引き出し、よき援助者になるための知識と専門性を高めていくため、講義に加え、演習形式による参加型での授業を展開する。そのため、毎回学生の主体的、積極的な受講態度が求められる。必要な準備物については授業の中で説明する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に課題を回収したら、次回以降で解答についてコメントし返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	授業への積極的な参加態度や指導案・模擬授業等を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	40	理解度確認のためのテストを実施				
	レポート	20	授業の理解度の確認のために、課題を課す（次回の授業で提出）				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	幼児教育の基本と保育内容「環境」(幼児期の終わりまでに育ってほしい姿との関連) ・小学校教育との違いについて ・保育内容の基本的構造と領域「環境」のねらい及び内容について	久米	講義・演習	講義内容をまとめる	90
2 /	子どもの育ちと「環境」との関わりを学ぶ ・幼児の発達特性について ・幼児期の発達に応じた環境と環境構成の実例(事例研究)	久米	講義・演習	講義内容をまとめる。幼稚園教育要領を繰り返し読む	90
3 /	保育の実際から領域「環境」のねらい及び内容を学ぶ ・園内外で行われる幼児の遊びや活動の事例から	久米	講義・演習	課題を完成させる(フィールドビンゴ)	90
4 /	領域「環境」のねらいを達成するための「人的環境」「物的環境」を学ぶ ・保育活動の事例から人的環境、物的環境のあり方を学ぶ	久米	講義・演習	学んだこと、経験したことをまとめておく	90
5 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(植物に触れる保育)(計画立案) ・指導計画立案を立てる(野菜等の栽培)	久米	講義・演習(指導案立案)	指導案を完成させる	90
6 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(栽培の実例) ・模擬保育を行う(野菜等の栽培)	久米	講義・演習(模擬保育)	模擬授業を振り返り内容をまとめる	90
7 /	自然と関わる力を育む保育を学ぶ(振り返り) ・計画立案、模擬保育の反省、改善点の検討(野菜等の栽培の振り返り)	久米	講義・演習(模擬保育の反省・振り返り)	模擬保育の反省、振り返りをまとめる	90
8 /	幼児期における数量・図形等の関心、感覚を育む保育の実例 ・小学校算数科でつきたい力と、幼児期に経験させたい算数的活動 ・幼小連携の重要性について	久米	講義・演習	学んだこと、経験したことをまとめておく 小学校算数を想起する	90
9 /	幼児期における数量・図形等の関心、感覚を育む保育の実例 ・幼児期における算数的活動を引き出す活動について ・手遊び歌に潜む算数的活動	久米	講義・演習	学んだこと、経験したことをまとめておく	90
10 /	幼児期における標識・文字等に関わる保育の実例 ・園生活や遊びの中で、標識・文字・情報等に触れる活動について ・壁面環境について	久米	講義・演習	学んだこと、経験したことをまとめておく 身の回りの文字や標識を調べておく	90
11 /	社会や文化に関わる力を育む保育の実例 ・地域行事との関わり、日本文化や異文化に触れる活動について	久米	講義・演習	地域行事を調べる 講義内容を振り返りまとめる	90
12 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実例(計画立案) ・身の回りの素材を使ったおもちゃ等の作成 ・工夫力(思考力)を育むための人的環境・物的環境について	久米	講義・演習(指導案立案)	指導案を完成させる	90
13 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実例(模擬保育) ・収集した身の回りの素材を使っておもちゃ等の作成・完成	久米	講義・演習(模擬保育)	模擬授業を振り返り内容をまとめる	90
14 /	ものや道具に関わる力を育む保育の実例(模擬保育の振り返り) ・計画立案、模擬保育の反省、改善点の検討(おもちゃ製作の振り返り)	久米	講義・演習(模擬保育の反省・振り返り)	模擬保育の反省、振り返りをまとめる	90
15 /	現在社会の幼児を取り巻く環境とその課題について学ぶ ・幼稚園と小学校のインクルーシブ教育の比較 ・ESD、ユニバーサルデザインについて	久米	講義・演習	インクルーシブ教育についてまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
領域指導法（健康）	北尾 岳夫(専 任)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Instruction Method of area (Health)							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・領域「健康」について理解する。 ・領域「健康」に関する、具体的な保育実践力を獲得する。							
授業の内容 領域「健康」のねらいと内容、及び内容の取扱について理解し、幼児の健康な心と体を育む知識、また幼児自身による健康で安全な生活を作り出す力を養うために必要な知識を身に付ける。特に幼児期の健康に関わる生活習慣や心身の発育発達、また運動発達の特徴の理解を深め、適切な指導方法と幼児への関わり方を理解する。 試験は記述式とし、論旨が不明確な解答は採点しない。また、試験で60点に達していない場合は単位認定とならない。							
教科書	『新しい保育講座 7 保育内容「健康」』 河邊貴子・鈴木康弘・渡邊英則 編著（ミネルヴァ書房） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	幼稚園教育要領解説 平成30年3月 文部科学省 フレーベル館 幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説 平成30年3月 内閣府・文部科学省・厚生労働省 フレーベル館 保育所保育指針解説 平成30年3月 フレーベル館						
担当者からのメッセージ	短大での学びのなかで、論理的思考や文章表現力を磨いておくこと。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	Google Classroom を利用して、複数回の課題（小テスト含む）に取り組むことを求める。 質問等に対するフィードバックは、その内容に応じて Google Classroom を通じて、もしくは通常授業時に行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業中の不適切行為に対する減点				
	授業内試験						
	定期試験	60	記述式試験				
	レポート						
	その他	30	Google Classroom を利用した課題				
自由記載							
オフィスアワー	北尾研究室 月曜～木曜日 12時30分～13時00分						
担当教員E-mail	t-kitao@sumire.ac.jp（北尾）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス (授業の流れを理解する)	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
2 /	保育の基本と領域「健康」	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
3 /	乳幼児期の身体の発達と健康	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
4 /	乳幼児期の生活リズムと生活習慣	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
5 /	乳幼児期の食生活	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
6 /	乳幼児期の運動発達	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
7 /	乳幼児期の安全	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
8 /	指導計画を立てる準備 (お散歩の下見)	北尾	講義及び質疑応答	お散歩の下見で確認した危険 箇所を整理しておく	90
9 /	指導計画を立ててみる (お散歩の指導計画)	北尾	講義と演習及び質疑応答	お散歩の指導計画(指導案) を完成させる	90
10 /	領域「健康」と保育方法	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
11 /	生活リズム・生活習慣に関わる指導	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
12 /	食育に関わる指導	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
13 /	運動遊びに関わる指導	北尾	講義と演習及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
14 /	安全への配慮と子どもへの安全教育	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
15 /	領域「健康」に関わる現代的課題と動向	北尾	講義及び質疑応答	テキスト範囲を通読しておく テキスト範囲と自分のノート を確認して整理しておく	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
保育内容総論	三上 佳子(専 任)	1年次	前期	1	演習	必修	○
							実務経験
							○
Introduction to Child-care							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 幼児教育における全体像と保育内容5領域を総合的に理解している。 ・ 環境を通じた保育のあり方および遊びを通じた総合的な指導のあり方について理解している。 ・ 遊びを通しての総合的な指導の意義と、幼児の保育内容が説明できる。 ・ 視聴覚教材を用いて、実際の保育場面の子どもや保育者の様子を見ながら、保育内容全般を学ぶことができる。 ・ 幼児教育における指導計画の考え方を理解し、発達の過程を見通した指導計画作成を学ぶことができる。 							
授業の内容 <p>幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、保育内容総論を指導する。</p> <p>具体的な幼児の姿を関連づけながら遊びの中でどのような経験をしているかについて学び、5領域のねらい及び内容とつながりを確認し、遊びを通して育つことを理解する。</p>							
教科書	『マンガとアクティブ・ラーニングで学ぶ保育内容総論』 開 仁志 編著（保育出版社） 価格（本体2,270円＋税） 『幼稚園教育要領解説』 文部科学省（フレーベル館） 価格（本体240円＋税） 『保育所保育指針解説書』 厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体220円＋税） 『幼保連携型認定こども園教育・保育要領解説』 文部科学省・厚生労働省（フレーベル館） 価格（本体350円＋税）						
参考書	必要に応じて授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	「保育原理」の学びを基礎とした授業であり、実習を視野に入れた内容を考えている。 授業時に配付したプリントや演習課題はファイルに綴じること。 教科書を事前に読み学習し授業に臨んで欲しい。 授業態度については、積極的に意見やディスカッション、授業後のミニレポートを評価の対象とする。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された課題は、コメントをつけて適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	普段の授業態度を評価				
	授業内試験	30	小テスト				
	定期試験						
	レポート						
	その他	40	ノート、教材の成果物、指導案等の提出を評価				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 授業終了後に教室で質問を受け付ける メールでの質問・相談を随時受け付ける（件名に学生番号氏名を入れること）						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開する（事前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 <p>子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 幼児教育における遊びを通した指導	三上	授業の進め方の説明をする 講義	保育所・幼稚園・幼保連携型 認定こども園の目的、目標、 保育内容について読んでおく	90
2 /	子どもの遊びを分析して、どのような経験をして いるか話し合う	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
3 /	幼児教育における環境構成を通した実践	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
4 /	環境構成を分析して、物的環境や人的環境との 関わりについて話し合う	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
5 /	幼児教育における5領域のねらい及び内容の つながり	三上	講義 グループ討議	グループ討議の内容をまとめる	90
6 /	入園前の子ども理解と子どもの生活	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
7 /	支援を要する子ども理解とクラス運営	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
8 /	「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」と 活動のつながり	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
9 /	保育活動全体を通して分析し、幼児教育にお ける見方・考え方を話し合う	三上	講義 グループ討議	グループ討議の内容をまとめる	90
10 /	幼児教育における教育課程・指導計画につい て	三上	講義	授業で学んだことをまとめる	90
11 /	幼児教育における長期指導計画・短期指導計 画の特徴について	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
12 /	「初めてのお弁当日」をどのように指導する かについて	三上	講義 グループ討議	グループ討議の内容をまとめる	90
13 /	5領域に関連した具体的な保育計画を行い、 指導案を作成することができる	三上	講義 グループ討議	指導案作成のため、今までの 授業内容を整理しておく	90
14 /	模擬保育を実施する	三上	講義 演習	授業で学んだことをまとめる	90
15 /	まとめとテスト	三上	演習 小テスト	今までの授業内容を整理して おく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
乳児保育 I (A・C)	内藤 幸枝(非常勤) 杉田のり子(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割について理解する。 ・保育所、乳児院等多様な保育現場の乳児保育の現情と課題を理解する。 ・3歳児未満時の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制を理解する。 ・乳児保育における職員間の連携、保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
授業の内容 現在保育所に勤務している担当教員により、子ども理解や対応の仕方、保護者や職員との連携などリアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 人が人として生きる意味を考え、その根幹となる乳児保育の意義を把握し、歴史の変遷から現状について理解する。赤ちゃんの心身の成長発達を科学的根拠から学び、母子関係、養護と教育の一体化の重要性、3歳未満児の成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに乳児担当者としての心構え、保育観を確立するための保育の原理や知識技術の基礎を演習形態で学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育 I・II -科学的観察力と優しい心-』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的な予習・復習を含め、グループ討議や授業の積極的な参加姿勢、授業内容のまとめや考察を記したノート提出を基に乳児保育の理解を評価のポイントとする。 また、授業内容を把握し、他の意見を聞いたり自分の意見を表現し、文章化することで思慮を深めるようにする。 乳児保育の重要性とともにやりがいを感じ、保育士への意欲を高めてもらいたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題提出を添削し、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	授業内試験	40	まとめ授業時に乳児保育 I の授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	養護的な関わりと乳児保育の実際 だっこ・おんぶ	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
2 /	乳児保育の実際 授乳・離乳・食事	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
3 /	乳児保育の実際 排泄(おむつ交換)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
4 /	乳児保育の実際 睡眠(子守歌・睡眠観察)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
5 /	乳児保育の実際 清潔・着脱	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
6 /	乳児保育の実際 わらべうた・ふれあい遊び	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
7 /	乳児保育の実際 健康・安全・防災	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
8 /	乳児保育の意義・歴史 乳児保育の保育者論	内藤	講義 グループ討議	テキストを読んでまとめる	90
9 /	保育所指針の乳児保育の考え方	内藤	講義 グループ討議	テキストを読んでまとめる	90
10 /	乳児保育の歴史と意義	内藤	講義 グループ討議	テキストを読んでまとめる	90
11 /	0、1、2歳児の発達理解 保育所保育指針と発達理解	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
12 /	発達の流れと保育 0歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
13 /	発達の流れと保育 1歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
14 /	発達の流れと保育 2歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習を する	90
15 /	まとめ	内藤 杉田	乳児保育Ⅰに関する理解度 の確認	ここまでの学びについて復習 しておくこと	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
乳児保育 I (B・D)	内藤 幸枝(非常勤) 杉田のり子(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Theory of Baby Care I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・乳児保育の意義・目的と歴史の変遷及び役割について理解する。 ・保育所、乳児院等多様な保育の場における乳児保育の現状と課題について理解する。 ・3歳児未満時の発育・発達を踏まえた保育の内容と運営体制を理解する。 ・乳児保育における職員間の連携、保護者や地域の関係機関との連携について理解する。							
授業の内容 現在保育所に勤務している担当教員により、子ども理解や対応の仕方、保護者や職員との連携などリアルタイムでの保育の実際を学ぶ。 人が人として生きる意味を考え、その根幹となる乳児保育の意義を把握し、歴史の変遷から現状について理解する。赤ちゃんの心身の成長発達を科学的根拠から学び、母子関係、養護と教育の一体化の重要性、3歳未満児の成長発達の特徴と保育課題を把握するとともに乳児担当者としての心構え、保育観を確立するための保育の原理や知識技術の基礎を演習形態で学ぶ。							
教科書	『シードブック 乳児保育 I・II -科学的観察力と優しい心-』 古橋紗人子 中谷奈津子 (建帛社) 価格(本体2,000円+税)						
参考書	月刊「保育とカリキュラム」(ひかりのくに)						
担当者からのメッセージ	自主的な予習・復習を含め、グループ討議や授業の積極的な参加姿勢、授業内容のまとめや考察を記したノート提出を基に乳児保育の理解を評価のポイントとする。 また、授業内容を把握し、他の意見を聞いたり自分の意見を表現し、文章化することで思慮を深めるようにする。 乳児保育の重要性とともにやりがいを感じ、保育士への意欲を高めてもらいたい。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題提出を添削し、適宜返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	60	授業内容のまとめやグループ討議の参加度、ノート提出、課題提出等積極的な授業参加				
	授業内試験	40	まとめ授業時に乳児保育 I の授業内容全般についての理解度確認				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載	ノート提出や必要に応じてのレポート提出を課す。最終授業で振り返りのテストをおこなう。						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	乳児保育の意義・歴史 乳児保育の保育者論	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
2 /	保育所指針の乳児保育の考え方	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
3 /	乳児保育の歴史と意義	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
4 /	0、1、2歳児の発達理解 保育所保育指針と発達理解	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
5 /	発達の流れと保育 0歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
6 /	発達の流れと保育 1歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
7 /	発達の流れと保育 2歳児の保育の発達と保育	内藤	講義 グループ討議	テキストを読み、予習学習をする	90
8 /	養護的な関わりと乳児保育の実際 だっこ・おんぶ	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
9 /	乳児保育の実際 授乳・離乳・食事	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
10 /	乳児保育の実際 排泄(おむつ交換)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
11 /	乳児保育の実際 睡眠(子守歌・睡眠観察)	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
12 /	乳児保育の実際 清潔・着脱	杉田	講義 演習	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
13 /	乳児保育の実際 わらべうた・ふれあい遊び	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
14 /	乳児保育の実際 健康・安全・防災	杉田	講義 グループ討議	テキストを読んでおく 内容に応じた下調べをする	90
15 /	まとめ	内藤 杉田	乳児保育 I に関する理解の 確認	ここまでの学びについて復習 していくこと	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
障がい児保育	別 示						実務経験
Education for Handicapped Children							
資格等取得との関連							
教科書							
参考書							
担当者からのメッセージ							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック							
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー							
担当教員E-mail							
教員相互授業参観							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /					
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
多文化共生の保育と方法	永久 欣也(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
Childcare and method of multiculturalism							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・多文化共生の保育について理解を深め、課題解決に向けて考えていく。 ・日本と海外の保育活動の相違について知り、その歴史的背景などを知る。 ・多文化共生の保育活動のための保育者をめざし、そのために必要な知識を深めたり、実践したりする。							
授業の内容 国際化の波は保育の現場にも押し寄せてきており、多文化理解に精通した保育者が求められてもきている。多文化共生社会における保育のあり方を考え、保育現場が直面している課題解決に向けてどのようなことができるかを考えていく。							
教科書	『多文化保育・教育論』 咲間まり子 編 (株式会社 みらい) 価格(本体1,800円+税)						
参考書	授業時に適時紹介する						
担当者からのメッセージ	授業時における積極的な質問はおおいに歓迎する。また、新聞やニュースなど、「多文化共生」に関する事柄には特に気をつけておくこと。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出課題は内容を確認し、不十分な点や、さらに内容が豊かになるための記述方法などを授業において全体に説明するとともに、個別にも対応する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	授業への積極的な取り組みの姿勢				
	授業内試験						
	定期試験	60	授業理解の確認				
	レポート						
	その他	20	提出課題の有無や内容				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等にて連絡あれば他の時間への調整は可						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】		保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 「多文化共生の保育について」	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
2 /	多文化共生の保育の現状を知る	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
3 /	在日外国人の動向と課題 －福祉ニーズについて知る－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
4 /	異文化コミュニケーションとは	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
5 /	多文化共生を阻むもの	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
6 /	外国人保護者への支援のあり方	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
7 /	ワールド・スタディーズについて1 －国際理解教育のための方法論－	永久	講義 演習 グループでの活動実践	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
8 /	ワールド・スタディーズについて2 －あそびを通して学ぶ国際理解－	永久	講義 演習 グループでの活動実践	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
9 /	多文化保育における保育者の役割 －求められる保育者像－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
10 /	多文化保育の実践例に学ぶ(国内)	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
11 /	諸外国の多文化共生保育を知る1 －北欧を中心として－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
12 /	諸外国の多文化共生保育を知る2 －アジア圏を中心として－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
13 /	多文化共生保育の実現に向けて1 －内なる国際化の充実のために－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
14 /	多文化共生保育の実現に向けて2 －保育現場の課題解決のために－	永久	講義	授業の振り返りと要点の整理 次回講義への予習	180
15 /	まとめ	永久	講義	これまでの授業内容の総復習	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもの保健	飯盛 順子(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Child Health							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 1. 子どもの心身の健康増進を図る保健活動の意義を理解する。 ・ 2. 子どもの身体発育や生理機能及び運動機能並びに精神機能の発達と保健について理解する。 ・ 3. 子どもの疾病とその予防及び適切な対応について理解する。 							
授業の内容 <p>保育所や保育行政において、保健衛生面での専門職（保健師、看護師）として、子どもの健康管理や保育保健活動を経験した担当教員が、保育師保育指針第3章「健康及び安全」を踏まえ、乳幼児期の成長発達の過程に応じた養護や、保育保健の知識や技術について学ぶ。</p>							
教科書	『図解子どもの保健 I 第2版』 服部右子・大森正英編（株式会社みらい） 価格（本体2,200円＋税）						
参考書	赤ちゃんから学ぶ「乳児保育」の実践力 ―保育所・家庭で役立つ― 監修 川原佐公 価格（本体2,381円＋税）						
担当者からのメッセージ	教科書やノートに目を通し、確かな知識の習得に努めてください。授業態度は、保育の資格を取得をとる者としての自覚を持ち、私語は慎みスマホ等授業に不要なものは、机の上に置かないようにしてください。受講態度も評価の対象とします。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や疑問、質問についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	私語を慎み、教科書忘れ等ないように注意する				
	授業内試験						
	定期試験	70	理解度確認のためのテストを実施する				
	レポート						
	その他	20	小テスト、レポート等必要に応じて実施する				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	isakari_jyunko@yahoo.co.jp（飯盛）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	<p>(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。</p> <p>(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。</p> <p>(幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。</p> <p>(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。</p>						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	子どもの保健の意義と目的 子どもの保健の内容について 生命誕生について	飯盛	講義 DVD視聴 (生命の誕生)	講義内容をまとめる DVD視聴の感想文を課題とする	90
2 /	身体の発育と保健 発育の評価 各時期の発達 (脳・骨・歯)	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	生理機能の発達 (循環 呼吸 消化 排泄 免疫 体温) 運動機能の発達	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	精神機能の発達	飯盛	講義 DVD視聴	講義及びDVD視聴の内容をまとめる	90
5 /	生活習慣と健康	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	乳児期の栄養	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	子どもの健康状態の評価及び症状と対処法 子どもの病気・異常とその予防 1 先天性疾患 新生児の病気異常・感染症	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	子どもの病気・異常とその予防 2 アレルギー 消化器 呼吸器 循環器血液 精神神経の病気	飯盛	講義 DVD視聴	講義及びDVD視聴内容をまとめる	90
9 /	子どもの病気・異常とその予防 3 泌尿器 生殖器 内分泌 代謝 皮膚 臍 目耳鼻の病気その他	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
10 /	病気の予防 先天性疾患の予防 新生児の病気予防 予防接種について	飯盛	講義 DVD視聴	講義・DVD視聴内容をまとめる 予防接種関係資料配付	90
11 /	事故と安全指導及び応急処置 応急処置の実際と基本的な考え方 創傷 打撲 熱傷 異物誤飲 気道内異物と 処理	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
12 /	保育所における事故対応ガイドラインについて	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
13 /	母子保健行政 母子保健対策の現状と動向 児童福祉施設における保健対策と連携	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	復習・まとめ飯	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	復習・まとめ飯	飯盛	講義	講義内容をまとめる	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブ・ラーニング
子どもの心理学	早川 滋人(非常勤)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
							○
Child Psychology							
資格等取得との関連	幼稚園教諭二種免許の必修、保育士資格の必修、准学校心理士資格の選択						
授業の到達目標 ・ 幼児、児童及び生徒の心身の発達に関するさまざまな理論を理解し、実際に子どもたちと関わる際に役立てることができる。 ・ 幼児、児童及び生徒の学習に関する基礎的知識を身につけ、発達を踏まえた学習を支える指導について基礎的な考え方を理解する。さらに個別の指導に役立てることができる。							
授業の内容 公認心理師として、臨床実践の中で発達支援や保護者支援に携わってきた経験を踏まえて講義を行う。 保育者が幼児に対する関わりを行う際に、幼児の心の発達プロセスや、学習の状況・あり方に関する基本的な知識を有していることは極めて重要である。本講義では、発達や学習に関わる基礎的な内容について学び、保育・教育活動における基礎的・実践的な力量を養うことを目指す。							
教科書	『改訂2版新保育士養成講座 第6巻 保育の心理学』 新保育士養成講座編集委員会編 (全国社会福祉協議会) 価格(本体1,900円+税)						
参考書	適宜紹介する						
担当者からのメッセージ	この授業では発達の基礎を学ぶこととなります。何事においても基礎はとても大切なもので、基礎を身につけるためには、かなりの時間をかけるべきです。予習、復習の習慣を身につけ、その中でしっかりと発達の基礎を身につけた保育者を目指してください。 本演習は、アクティブ・ラーニングの手法で実施しますので、学生の積極的な参加を重視します。授業の詳細は、第1回目に説明をします。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	毎回の課題を「テーマシート」として実施し、次週に返却します。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験	70	筆記試験を行う				
	レポート						
	その他	30	「テーマシート」の評価				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	shayakawa@sumire.ac.jp (早川)						
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発達と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	子どもの心理学とは？	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
2 /	子どもの発達理解1（発達と環境、自我の発達）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	30
3 /	子どもの発達理解2（身体的機能と運動機能の発達）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	30
4 /	子どもの発達理解3（知覚と認知の発達、ことばの発達と社会性）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	30
5 /	子どもの発達理解4（人との相互的関わりと子どもの発達）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	30
6 /	生涯発達と初期経験の重要性1（胎児期、新生児期、乳児期）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	30
7 /	生涯発達と初期経験の重要性2（幼児期、学童期、青年期）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	テキストの予習をする 講義内容をまとめる	30
8 /	学習の基礎1（さまざまな学習理論）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
9 /	学習の基礎2（記憶と知識の獲得）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
10 /	学習の基礎3（メタ認知）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
11 /	学習指導をめぐる諸問題1（知的能力の発達）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
12 /	学習指導をめぐる諸問題2（学ぶ力と動機づけ、集団づくり、学習評価）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
13 /	学習指導をめぐる諸問題3（学ぶ力と原因帰属、自己調整学習）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
14 /	学習指導をめぐる諸問題4（ストレスと適応）	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	30
15 /	発達・学習の今日的課題	早川	講義 アクティブ・ラーニング	講義内容をまとめる	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
社会福祉	岡本 芳也(非常勤)	1年次	前期	2	講義	必修	実務経験
							○
Social Welfare							
資格等取得との関連	保育士資格の必修、レクリエーション・インストラクター資格の選択						
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・社会問題としての生活問題を、具体的な事例を手掛かりに理解できる。 ・社会福祉の成り立ちを理解できる。 ・現代社会における社会福祉の実態が理解できる。 ・「生存権」を単なる文言としてでなく、くらしの中で生かしていける視点を身につける。 ・社会科学的なものの見方・考え方を身につけることができる。 							
授業の内容 <p>社会福祉士として、成年後見制度による要支援者に対する地域福祉実践に携わる講師による講義である。日本国憲法第25条「生存権」の理念に基づいて、くらしにまつわる様々な問題を社会科学的なものの見方・考え方からとらえていく、その手がかりを得ることを目標とする。そのために、まずはいま社会福祉や保育の現場でどのような問題が起こっているのか、現実にして学んでいく。特に、貧困や差別、虐待といった社会問題がどのように生み出され、そして私たちはどのように対処してきたのか、歴史から学ぶことを重視する。歴史や理論を踏まえ、現在の法制度や支援の実態を学んでいく。基本的に講義形式で実施する。</p>							
教科書	『はじめて学ぶ 子どもの福祉2 社会福祉』 倉石哲也・小崎恭弘 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	参考書は授業の中で紹介する その他、参考資料については授業の中でその都度配付する						
担当者からのメッセージ	社会福祉は限られた人に関する問題や実践ではなく、この社会に生きる皆さんを含む全ての人に関わることです。また、現代社会における社会福祉実践は単なるお情けや温情で行うものではなく、権利として社会によって保障されなくてはならないものです。他人事としてではなく皆さん自身の身の回りを見渡しながら、自分たち自身に関わることとして理解を深めていってください。なお、この科目で学ぶことは後期「施設実習Ⅰ」に直結してきます。実習へのつながりを意識しながらしっかり学んでください。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	小レポートについては、翌週の授業にて必要に応じてコメントを行います。また、学習内容に関して寄せられた疑問、質問についても回答、説明などを行い、より深い理解ができるようにしたいと思います。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	40	講義に関する小レポートで評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	社会福祉についての基礎的知識を問う				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に、教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する(参観の前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP3)【知識・理解】 (幼DP12)【態度・志向性】		時代や社会のニーズに応え得る多様な幼児教育保育を理解している。 幼児教育保育に携わる者としての社会的責任を自覚している。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	社会福祉と何か(基本的枠組みの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	30
2 /	社会福祉の理念(基本的人権を中心として)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
3 /	社会福祉の理念(ノーマライゼーション、ソー シャルインクルージョンなど)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
4 /	社会福祉の歴史の変遷(近代社会福祉の成立)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
5 /	社会福祉の歴史の変遷(日本における制度の 変遷)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
6 /	社会福祉の歴史の変遷(社会福祉基礎構造改 革などの理解)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
7 /	社会福祉における相談援助(理論と方法)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
8 /	社会福祉における相談援助(技術、原則)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
9 /	社会福祉の制度・体系(1) 生活保護制度	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
10 /	社会福祉の制度・体系(2) 児童家庭福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
11 /	社会福祉の制度・体系(3) 高齢者福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
12 /	社会福祉の制度・体系(4) 障害者福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
13 /	社会福祉の制度・体系(5) 地域福祉	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	60
14 /	社会福祉の制度・体系(6) 権利擁護	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	120
15 /	社会福祉の施設・機関・専門職(現在の課題)	岡本	講義とレポート作成、質疑 応答	授業ノートを見直し、疑問点 などを整理すること 次回の授業範囲を予習し、単 語の意味を調べておくこと	180
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子ども家庭福祉	別 示						実務経験
Child and Family Welfare							
資格等取得との関連							
教科書							
参考書							
担当者からのメッセージ							
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック							
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー							
担当教員E-mail							
教員相互授業参観							
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連							

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /					
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
社会的養護 I	木塚 勝豊(非常勤)	1年次	後期	2	講義	選択	○
							実務経験
							○
Study of Social Care I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・社会的養護の現状と課題について理解する。 ・あたらしい社会的養育ビジョンについて理解する。 ・要保護児童を含む児童の最善の利益について考察し、その具体的支援についての課題と将来像について理解する。							
授業の内容 児童養護施設での経験を活かした授業を行う。 児童福祉法における社会的養護の位置づけについて理解する。子ども・子育て支援新制度における社会的養護の位置づけを明確にしなが、社会的養護を必要とする児童の支援について、社会的養護施設や里親・ファミリーホームでの取り組みの現状と課題について理解する。具体的実践等を映像等で理解し、机上学習による振り返りを通して習熟度を深める。また、学生同士の学びを大切に、グループワークを取り入れてアクティブ・ラーニングする授業も設け、学生同士・学生と教員など、ともに学ぶ姿勢を授業の中に取り入れる。							
教科書	『実践に活かす社会的養護 I』 坂本健 (ミネルヴァ書房) 価格(本体2,750円+税)						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	提出物を誠実に仕上げ、期限までに提出する。 授業中の確認テスト等をしっかりと仕上げる。 欠席・遅刻・早退については極力ないようにしてください。 授業態度ですが、指示なくスマホを操作する・理由なく立ち歩く・他学生の迷惑になるような私語・居眠り等は厳禁です。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	課題・レポートのほとんどは翌週以降に学生へ返却します。一部のレポート等については評価対象となりますので返却しない場合があります。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	授業で指示された提出物で習熟度を確認して評価する				
	授業内試験	30	習熟度を確認するテストにより評価する				
	定期試験						
	レポート	40	レポート試験により評価する				
	その他						
自由記載	真面目に受講することが重要です						
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	toku_kizuka@snow.ocn.ne.jp (木塚)						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション・アイスブレイク アクティブ・ラーニングで社会的養護を学ぶ・ グループワーク課題を発表	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
2 /	子ども・子育て支援新制度における社会的養 護の位置付けを明確化する	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
3 /	社会的養護の課題と将来像について理解する	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
4 /	学生が調べた「児童養護施設」について発表 と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
5 /	学生が調べた「乳児院」について発表と教員 からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
6 /	学生が調べた「児童自立支援施設」について 発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
7 /	学生が調べた「児童心理治療施設」について 発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
8 /	学生が調べた「母子生活支援施設」について 発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
9 /	学生が調べた「自立援助ホーム」について発 表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
10 /	学生が調べた「里親・ファミリーホーム」に ついて発表と教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
11 /	学生が調べた「児童相談所」について発表と 教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
12 /	学生が調べた「一時保護所」について発表と 教員からの机上学習	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
13 /	あたらしい社会的養育ビジョンについて 1	木塚	教員からの机上学習	復習時間を確保してください	30
14 /	あたらしい社会的養育ビジョンについて 2	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
15 /	1～14の授業のふりかえり	木塚	教員からの机上学習とアク ティブ・ラーニング を実 施する	復習時間を確保してください	30
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
社会的養護Ⅱ	大久保和久(非常勤)	1年次	後期	1	演習	選択	実務経験
							○
Study of Social Care Ⅱ							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・社会的養護の実際と支援の内容・方法・技術を習得することができる。 ・保育所等の保育士と児童入所施設等保育士が習得すべき、専門性の共通点と違いについて理解することができる。 ・社会的養護の必要性と、その充実を目指す上での具体的な課題と展望を知ることができる。							
授業の内容 現在、児童養護施設で施設長をしている担当教員が現場での豊富な経験をベースに演習を中心とした授業を行う。 現代社会が抱えているさまざまな歪みは、家庭養育にも大きく影響を及ぼし、結果として家庭での養育力の低下を招いている。加えて地域社会の教育力も弱体化してきており、そのため子ども達の好ましい育ちはますます阻害され、今や社会的養護の必要性とその充実は不可欠といえる。この教科では、適切な児童観の理解とともに、社会的養護の実際と支援の内容・方法・技術を習得すべく、施設現場レベルでの演習を主とした学習の場としたい。							
教科書	なし						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	「児童家庭福祉」「社会的養護」の講義に使用される教科書を必要に応じて参照してください。 保育士として、児童養護に携わる上で必ず身につけておかなければならない実践的内容ばかりです。 講義時はこちらのんのこと、小レポートの内容及びグループ課題に積極的に取り組む姿勢や受講態度は評価の大きなポイントになります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	次回の授業で、課題の中の特徴的な見解や誤解についてコメントする。 よくできた小レポートについては、授業中に受講生全体に口頭で内容をフィードバックする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	まじめに、そして積極的に取り組む受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	60	授業の内容全般についての理解度を評価する（レポート形式）				
	レポート	20	小レポートの内容を通して、毎回の授業の理解度を評価する				
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail	oukubo@shonanhouse.com（大久保）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	社会的養護の概念とその現状	大久保	講義 演習を進めるためのグループ編成	当日の授業内容の振り返り	60
2 /	児童の権利について 保育士の倫理及び責務について 児童虐待の現状について	大久保	講義及びグループでの演習 DVD視聴	当日の授業内容の振り返り	60
3 /	施設養護の特性及び実際について 里親制度の特性及び実際について	大久保	グループでの演習及び講師 の解説 DVD視聴	当日の授業内容の振り返り	60
4 /	施設における日常生活支援に関する事例分析 について(個別支援計画立案の実際)	大久保	グループでの演習及び講師 の解説	当日の授業内容の振り返り	60
5 /	施設における自立支援に関する事例分析につ いて(記録及び評価の実際)	大久保	グループでの演習及び講師 の解説	当日の授業内容の振り返り	60
6 /	保育士の専門性に関わる知識・技術とその応 用について	大久保	グループでの演習及び講師 の解説 DVD視聴	当日の授業内容の振り返り	60
7 /	今後の展望について 施設の小規模化・家庭養育優先の原則・地域 とのかかわりについて	大久保	講義	当日の授業内容の振り返り	60
8 /	まとめ	大久保	講義	当日の授業内容の振り返り	60
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
子どもとあそび	松井 典子(専 任) 三上 佳子(専 任)	1年次	前期	2	演習	選択	○
							実務経験
							○
Child and Play							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・子どもを取り巻くあそびについての基礎的知識を身につける。 ・子どものあそびについて、実践的・体験的に理解し、実践できる。							
授業の内容 幼児教育保育等の現場経験のある教員が講義・演習を行う。 Google classroomを用いた双方向型授業を適宜実施する。また、情報リソースを活用し、授業を行う。 「子どものあそび」は、伝統的なものから現代的なものまで、その種類は多岐に渡っている。その一方で社会や環境の変化に伴い、子どものあそびも変化し、日常的に接する機会が減っていると思われる。 この授業では、「子どものあそび」について理論的理解を深めながら、同時に実践的・体験的にその特徴を理解し、実践できるよう学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	『児童文化がひらく豊かな保育実践』 編著 中坪史典 (保育出版社) 価格(本体2,477円+税) 必要に応じて授業時に紹介する						
担当者からのメッセージ	必要に応じてプリントを配付する。配付されたプリントは、ファイルに綴じておくこと。グループワークでは積極的にディスカッションに加わること。 提出物は締め切りを厳守すること。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	次回授業で、課題の中の特徴的な見解についてコメントする。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	40	演習レポート、課題レポート、毎時授業終了後の小レポート				
	その他	30	制作課題、発表				
自由記載							
オフィスアワー	松井研究室 火曜日 12時15分～12時50分 その他随時受付(電子メールによる事前予約が望ましい) 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 その他随時受付(電子メールによる事前予約が望ましい)						
担当教員E-mail	n-matsui@sumire.ac.jp (松井) y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	公開する(事前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション ー「あそび」とは何かー	松井 三上	講義	講義内容をまとめる	90
2 /	子どもの発達とあそび	松井 三上	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	乳児(0 1 2歳児)のあそび	松井 三上	講義と演習	演習内容をまとめる	90
4 /	乳児とおもちゃ ーモノとのかかわりー	松井 三上	講義と演習	手作りおもちゃを完成させる	90
5 /	乳児のための手作りおもちゃ	松井 三上	演習	演習内容をまとめる	90
6 /	ごっこあそびにおける発達とその意義	松井 三上	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	幼児(3、4、5歳児)のあそび	松井 三上	講義と演習	講義と演習内容をまとめる	90
8 /	ルールのあるあそび	松井 三上	講義と演習	講義と演習内容をまとめる	90
9 /	サウンドスケープ(1) 概要	松井 三上	講義と演習	講義と演習内容をまとめる	90
10 /	サウンドスケープ(2) 実践	松井 三上	演習 グループワーク	演習内容をまとめる	90
11 /	サウンドスケープ(3) まとめと省察	松井 三上	グループワーク	演習内容をまとめる	90
12 /	び行事とあそび(1) 衣食住	松井 三上	講義と演習	講義と演習内容をまとめる	90
13 /	行事とあそび(2) 行事と歌	松井 三上	講義と演習	講義と演習内容をまとめる	90
14 /	昔の子どものあそびと今の子どものあそび	松井 三上	講義と演習	講義と演習内容をまとめる	90
15 /	まとめ ー子どもの発達と現代的な課題ー	松井 三上	講義	講義内容をまとめる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
手話 I	原田 直子(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Sign Language I							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 ・聴覚障がい者の基本的理解と、基本的コミュニケーション技術を修得する。 ・聴覚障がいは見えない障がい。説明してもわかりにくいので、聴覚障がい者の生活の様子が見られるDVDを見て気付いたことをみんなで出し合ってまとめるなどして理解を深める。 ・DVDを使って「聞こえ」を体験して、聞こえのタイプがあると理解し、聴覚障害者コミュニケーション手段（手話、指文字、身振り、指差しなど）を適切に選択して話せるようになる。							
授業の内容 聴覚障がい者は主として手話でコミュニケーションしているが、手話の他に身振り、指文字、表情なども使う。このことを踏まえて、わかり易い表現を工夫して伝えることができるようになるため、日常会話に必要な手話単語を習得しながら、講師の手話を読み取ることができるように学習をする。							
教科書	『今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう』 一般財団法人全日本ろうあ連盟（全日本ろうあ連盟） 価格（本体900円＋税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	手話を見ることば。声を出したりせず声に頼らないことを心がけたら早く上達できる。手話で話す聴覚障がい者は、声が聞こえないので常に目で見えることを意識する。授業では、声を出さずに見ることに集中して、聴覚障がい者と話すときは目で見える習慣が身につくようにしてほしい。 内容に応じてDVDの映像を見たり、資料を配付する。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	手話によるスピーチをする。 発表を見て、授業の到達目標に照らして、授業の内容がどれだけ身についたかについて評価し、講評する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	15	受講態度により評価				
	授業内試験	75	理解度確認のためテストを実施				
	定期試験						
	レポート						
	その他	10	スピーチ（表現力、正確さ、リズム感）				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション 自己紹介	原田	実技	自分の名前の指文字を覚える	180
2 /	聴覚障がいについて ・耳の構造 ・きこえの体験	原田	講義・演習	TV「みんなの手話」を見る TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
3 /	聴覚障がい者のコミュニケーション 身ぶりで伝えてみよう 身振り、表情指さし	原田	演習・実技	TV「みんなの手話」を見る TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
4 /	手話で話してみよう1 数字、家族(1)	原田	実技	TV「みんなの手話」を見る TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
5 /	手話で話してみよう2 家族(2) 時の表わし方	原田	実技	TV「みんなの手話」を見る TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
6 /	手話で話してみよう3 位置の表わし方	原田	実技	TV「みんなの手話」を見る TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
7 /	スピーチ	原田	発表	手話単語を調べて見てわかり 易い表現を考える	180
8 /	まとめ 試験	原田	試験	TV「みんなの手話」を見る TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
手話Ⅱ	原田 直子(非常勤)	1年次	前期	1	演習	選択	○
							実務経験
Sign Language II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・聴覚障がい者の基本的理解と、基本的技術を習得する。 ・聴覚障がいは見えない障がい。説明してもわかりにくいので、聴覚障がい者の様子が見られるDVDを見る、聴覚障がいに関する記事を知るなどして理解を深める。 ・聴覚障がい者のコミュニケーション手段（手話、指文字、身振り、指差し）を適切に選択して話せるようになる。 ・表情や手話の強弱、速さ、大きさも表せるようになる。							
授業の内容 聴覚障がい者は主として手話でコミュニケーションしているが、手話の他に身振り、指文字、数字、指差しなども使う。 このことを踏まえて、分かり易い表現を工夫して伝えることを目標に、日常会話に必要な手話単語を習得しながら、講師の手話を読み取ることができるよう学習する。							
教科書	『今すぐはじめる手話テキスト「聴さんと学ぼう!」 一般財団法人全日本ろうあ「連盟」（全日本ろうあ連盟） 価格（本体900円+税）						
参考書	特になし						
担当者からのメッセージ	手話を見ることば。声を出したりせず声に頼らないことを心がけたら早く上達できる。 手話で話す聴覚障がい者は聞こえない耳の代わりに目で視ているので、常に目で視ることを意識する。 授業中 声を出さずに視ることに集中して、聴覚障がい者と話すときは目で視る習慣を身につくようにして欲しい。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	課題は 手話歌の発表、学外授業の感想文、手話などを使ったの会話。 授業の到達目標に照らして、授業内容がどれだけ身についたかについて評価し、講評する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	15	受講態度により評価				
	授業内試験	60	理解度確認のため実施				
	定期試験						
	レポート	10	学外授業の感想文を評価				
	その他	15	うた（表現力、正確さ、リズム感） 会話力				
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。 (幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】 保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	手話で話してみよう 行きたい場所	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
2 /	手話で話してみよう 病気や怪我で困ったとき	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
3 /	手話で話してみよう お天気 乗り物	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
4 /	手話で話してみよう 買い物	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
5 /	手話で話してみよう 台風がきたら、	原田	実技	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
6 /	福祉制度 歌を歌う	原田	講義・演習 発表	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
7 /	学外授業（日程調整）	原田	見学・体験	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
8 /	まとめ 試験	原田	試験	TV「みんなの手話」 TV「ろうを生きる難聴を生きる」を見る	180
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
幼児教育保育学入門	三上 佳子(専 任) 松村 都子(専 任)	1年次	前期	2	講義	必修	○
							実務経験
							○
Introduction to preschool education childcare theory							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・ 保育所実習・施設実習・教育実習に対する意識を高めることができる。 ・ 保育士・幼稚園教諭・社会福祉施設職員という職業への興味・関心を持つようになる。 ・ 実習の楽しさ、厳しさを前期のうちから感じ、日々の学習が実習に直結していることを実感している。 ・ 保育者・援助者を目指す者として基本的な視点を学ぶことができる。 ・ 乳幼児の発達について理解することができるようになる。 							
授業の内容 <p>幼児教育保育施設の現場経験のある教員による講義・演習を行う。</p> <p>実習とは、「観て理解」「体験しながら理解」することによって、より深く保育にかかわっていくためのものである。保育・教育実習入門では、保育者、保育職を目指すにあたって不可欠な保育実習、教育実習の基本を学ぶ2年間の実習スケジュールをはじめ、さまざまな保育現場や実習に臨む姿勢・態度、子どもの姿や保育者の姿について具体的に理解していく。</p>							
教科書	『保育者の関わりの理論と実践』 高山静子 (エイデル研究所) 価格(本体2,200円+税)						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	最初の実習が行われるのは学年末であるが、この授業を通じて、実習への心構えを持ち、早めの準備に取り掛かり、余裕をもって実習に臨めるようにしてほしい。 そのために、学生の皆さんには、実習に対して、疑問や不安があるときは、積極的に教員に質問をし早期に解決してほしい。本授業では、子どもを理解するために映像資料を用いて、子どもの遊びや生活について具体的に学ぶ。併せて保育者の関わりについても考える。						
課題(試験やレポート等)に対するフィードバック	提出された記録用紙・課題は、添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	10	授業態度				
	授業内試験	40	授業の理解度の確認のために確認テストを実施し、評価する				
	定期試験						
	レポート	40	毎時授業後の小レポート、漢字テスト、指導案他				
	その他	10	名札の制作				
自由記載							
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 松村研究室 事前に連絡すること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matumura@sumire.ac.jp (松村)						
教員相互授業参観	公開する(事前に連絡してください)						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP4)【表現力・コミュニケーション能力】保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	オリエンテーション／本学の実習の流れ実習に関する調査とその記入方法 基本的ルール、心構え	三上 松村	講義	復習 実習の流れについて再確認し、2年間の見通しを立てる	90
2 /	幼児教育・保育とは／遊びの楽しさの体験	三上 松村	講義 演習	講義内容を復習する	60
3 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(1) 0歳児 1歳児	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
4 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(2) 2歳児 3歳児	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
5 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(3) 3歳児 4歳児 特別な支援を必要とする子ども	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
6 /	乳幼児の理解と保育者の関わり(4) 5歳児 小学校との接続	三上 松村	講義・演習 映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
7 /	保育環境についての理解	三上 松村	講義・演習・映像資料	映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
8 /	保育環境についての理解 手遊び・絵本の読み聞かせ等を体験・実践	三上 松村	講義・演習	復習 体験をもとに、手遊びや絵本を準備する	60
9 /	保育所の1日を理解 幼稚園の1日を理解 認定こども園の1日を理解	三上 松村	講義・映像資料	復習 保育所・幼稚園・認定こども園の1日についてのレポートを仕上げる	60
10 /	観察の方法と書き方についての学び	三上 松村	演習・映像資料	復習 映像資料や講義内容を振り返り、ポイントを整理する	60
11 /	保育参加をし、子どもと遊びながら観察する中で、子どもの興味・関心や気持ちの理解	三上 松村	講義・学外授業(体験学習)	保育参加のレポートを完成させる	90
12 /	保育参加をし、子どもと遊びながら観察する中で、子どもの興味・関心や気持ちの理解	三上 松村	講義・学外授業(体験学習)	保育参加のレポートを完成させる 予習 絵本や手遊びを準備する	90
13 /	手遊びや絵本の読み聞かせの指導案を作成する。(ICT活用)	三上 松村	講義・演習	指導案を完成させる	90
14 /	手遊びや絵本の読み聞かせの指導案をもとに実践	三上 松村	演習	実践の振り返りをまとめる	90
15 /	授業のまとめ 保育者・援助者を目指すためにー保育者の基本姿勢ー 確認テスト	三上 松村	講義・確認テスト	予習 これまでの学びを復習しておく	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導 I (A・C)	永久 欣也(専 任)・三上 佳子(専 任)	1年次	後期	2	演習	選択	○
	保田 莉恵(専 任)・松村 都子(専 任)						実務経験
	松井 典子(専 任)						○
Guidance with Child-care Practice I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・ 保育所および福祉施設の役割や機能を理解し、実習への明確な目的をもつことができる。 ・ 保育所実習 I に向けて記録・指導案の書き方や教材理解の基本を身につける。 ・ 実習を振り返り、学びや反省から自己の課題を明確にすることができる。							
授業の内容 施設や幼児教育保育分野で実務経験をもつ教員も指導を担当する。 学外実習（保育所・施設実習）に向けた事前・事後指導を行う。実習の意義や目的、実習に対する心構えや厳守すべき事項（守秘義務等）について学ぶ。また実習記録や指導案の書き方の基本を学ぶ。実習課題および実習記録・指導案は添削による個別指導を行う。 保育所実習ならびに施設実習を行う者には必修の科目である。（この科目の履修なく実習にはいけない）							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	学外実習（保育所実習・施設実習）を行うための必修授業である。実習を円滑に進められるように、知識や心構えを持ち、また、自らの課題を明確にし、実践をとおして、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を目指せるように取り組んでください。こうした観点で皆さんの「受講態度」を測ります。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	施設実習 I に関する「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」は、担当教員（ ）が添削したうえで清書する。清書には必ず捺印を受けること。 保育所実習 I に関する「私の課題」は、担当教員（永久・三上・保田・松村・松井）が添削したうえで清書する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	大学での事前事後指導記録				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	受講態度を含めた授業への参加度・積極性（20%）、提出課題（50%）				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前に予約を取ること						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matsumura@sumire.ac.jp (松村) n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	原則として公開するが、施設実習に関する部分では、学生への個別指導が中心となることがあるため、公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】		保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	全体オリエンテーション	全員	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み等を説明する	実習に向けた意義・目的・実習生としての心構えを持ち、授業に臨む	90
2 /	施設実習オリエンテーション	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
3 /	保育所実習Ⅰに向けて	三上松村松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
4 /	施設実習記録簿の使い方	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
5 /	保育所実習記録簿の使い方 実習園への電話のかけ方 課題設定	三上松村松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
6 /	<全体授業> 観察記録・指導案の基礎理解	全員	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返し、観察記録の書式や指導案作成時の「ねらい」について理解を深める	90
7 /	施設実習Ⅰにおける「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」の書き方	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
8 /	保育所実習における記録の書き方、子どもの姿、保育の配慮・考察の書き方	三上松村松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
9 /	<全体授業> 保育所：実習課題の明確化と書き方 班長決定	全員	講義 記録用紙記入	「私の課題」を作成する	90
10 /	<全体授業> 施設：班長決定、グループワーク	永久保田	講義 記録用紙記入	配付資料への書き込みを再確認しておく	60
11 /	施設実習Ⅰにおける実習記録簿の書き方 各書類の完成に向けた作業	永久保田	講義 個人ワーク	書類を完成させる	180
12 /	保育所指導案の書き方・作成	三上松村松井	講義	説明を受けた内容をまとめる	90
13 /	保育所直前指導	全員	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
14 /	施設直前指導	永久保田	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
15 /	保育所・施設実習直後指導	全員	実習の振り返り	自身の実習を振り返り、実習Ⅱへとつなげる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育実習指導 I (B・D)	永久 欣也(専 任)・三上 佳子(専 任)	1年次	後期	2	演習	選択	○
	保田 莉恵(専 任)・松村 都子(専 任)						実務経験
	松井 典子(専 任)						○
Guidance with Child-care Practice I							
資格等取得との関連		保育士資格の必修					
授業の到達目標 ・保育所および福祉施設の役割や機能を理解し、実習への明確な目的をもつことができる。 ・保育所実習 I に向けて記録・指導案の書き方や教材理解の基本を身につける。 ・実習を振り返り、学びや反省から自己の課題を明確にすることができる。							
授業の内容 施設や幼児教育保育分野で実務経験をもつ教員も指導を担当する。 学外実習（保育所・施設実習）に向けた事前・事後指導を行う。実習の意義や目的、実習に対する心構えや厳守すべき事項（守秘義務等）について学ぶ。また実習記録や指導案の書き方の基本を学ぶ。実習課題および実習記録・指導案は添削による個別指導を行う。 保育所実習ならびに施設実習を行う者には必修の科目である。（この科目の履修なく実習にはいけない）							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	学外実習（保育所実習・施設実習）を行うための必修授業である。実習を円滑に進められるように、知識や心構えを持ち、また、自らの課題を明確にし、実践をとおして、保育士として必要な資質・能力・技術の習得を目指せるように取り組むこと。こうした観点で「受講態度」を測る。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	施設実習 I に関する「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」は、担当教員（ ）が添削したうえで清書する。清書には必ず捺印を受けること。 保育所実習 I に関する「私の課題」は、担当教員（永久・三上・保田・松村・松井）が添削したうえで清書する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	30	大学での事前事後指導記録				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	70	受講態度を含めた授業への参加度・積極性（20%）、提出課題（50%）				
自由記載							
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前に予約を取ること						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp (永久) y-mikami@sumire.ac.jp (三上) m-matsumura@sumire.ac.jp (松村) n-matsui@sumire.ac.jp (松井)						
教員相互授業参観	原則として公開するが、施設実習に関する部分では、学生への個別指導が中心となることがあるため、公開できない場合がある						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】		保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション	全員	それぞれの担当者が授業内容の詳細及び心構え、取り組み等を説明する	実習に向けた意義・目的・実習生としての心構えを持ち、授業に臨む	90
2 /	保育所実習Ⅰに向けて	三上 松村 松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
3 /	施設実習オリエンテーション	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	60
4 /	保育所実習記録簿の書き方 実習園への電話のかけ方 課題設定	三上 松村 松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す	90
5 /	施設実習実習記録簿の使い方	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料をもとに、実習記録ファイルを読む	60
6 /	<全体授業> 観察記録・指導案の基礎理解	全員	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返し、観察記録の書式や指導案作成時の「ねらい」について理解を深める	90
7 /	保育所実習における記録の書き方、子どもの姿、保育の配慮・考察の書き方	三上 松村 松井	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
8 /	施設実習Ⅰにおける「自己紹介シート」「福祉施設についての学習」「実習課題書」の書き方	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料を読み返す 実際に書類作成の準備をする	240
9 /	<全体授業> 保育所：課題の明確化と書き方 班長決定	全員	講義 記録用紙記入	「私の課題」を作成する	90
10 /	<全体授業> 施設：班長決定、グループワーク	永久 保田	講義 記録用紙記入	配付資料への書き込みを再確認しておく	60
11 /	保育所指導案の書き方 指導案作成	三上 松村 松井	講義 指導案の計画と作成	指導案を完成させる	180
12 /	施設実習Ⅰにおける実習記録簿の書き方 各書類の完成に向けた作業	永久 保田	講義 個人ワーク	説明を受けた内容をまとめる	90
13 /	保育所直前指導	全員	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
14 /	施設直前指導	永久 保田	実習ルール・準備物の確認、緊急対応について	説明を受けた内容をまとめる	90
15 /	保育所・施設実習直後指導	全員	実習の振り返り	自身の実習を振り返り、実習Ⅱへとつなげる	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育所実習 I	永久 欣也(専 任) 三上 佳子(専 任)	1年次	後期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
Child-care Practice at Nursery School I							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・ 保育所の役割・機能や保育士の専門性について実践をとおして理解する。 ・ 理論と実践（体験）を往復しながら主体的に保育について理解する。							
授業の内容 保育所実習 I をとおして保育所の役割や機能、保育者の職務（子どもとのかかわり、保育の実際）の基本を理解する。また子どもの姿を体験的に学ぶ。実習記録・指導案の書き方を実践的に学ぶ。 観察実習：保育の流れや子どもへのかかわりについて観察を通して学ぶ。 参加実習：保育者の指導を受けながら子どもと積極的にかかわることをとおして学ぶ。							
教科書	なし						
参考書	保育所保育指針解説他 随時紹介していく						
担当者からのメッセージ	「保育実習指導 I」が不合格である者、「保育実習 I において厳守すべきルール」や実習に関する記録などの提出期限等を守れない者の実習を認めない。準備を整えて実習に備えること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習にあたり、実習先と連絡を取り巡回訪問指導を行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習園の総合評価 (50%)、提出物 (50%)				
自由記載							
オフィスアワー	事前にメール等で予約を取ること 永久研究室 月・火・水 12時15分～13時 三上研究室 火・水・金 12時15分～13時						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp（永久） y-mikami@sumire.ac.jp（三上）						
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】		保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。				

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	実習期間：2月及び3月中の10日間	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	600
2 /	実習先：本学指定の保育所	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	180
3 /	実習内容：1 観察・参加実習を中心とし、保育者に準ずる立場で実践的に学び、実習ノートに記録する	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	180
4 /	実習内容：2 実習園の指導のもとで部分実習を行う	実習先	指定保育所での実習	保育実習所で学んだことを記録する	180
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
施設実習 I	永久 欣也(専任) 他	1年次	後期集中	2	実習	選択	○
							実務経験
Practice at Social Welfare Institution I							
資格等取得との関連	保育士資格の必修						
授業の到達目標 ・社会福祉施設の役割・機能や保育士の専門性について、実践を通じて学ぶ。 ・施設養護に関わる保育士として、科学的なものの方・考え方に基づいた問題把握と支援技術を習得するためのきっかけをつかむことができる。 ・社会福祉施設が抱えている課題について現地での実践を通じて学ぶ。							
授業の内容 社会福祉施設について精通する教員が主担当である。 具体的には各実習施設により、実習プログラムは異なることがあるが、おおむね以下の内容を学習することになる。 ・児童福祉施設等の役割や機能の理解 ・観察や利用者とのかかわりを通じた子ども（利用者）の理解 ・既習の教科の内容を踏まえた、利用者の保育・支援についての総合的に学習 ・家族や地域との関わりの実際 ・支援計画、観察、記録及び自己評価等について ・保育士の業務内容や職業倫理について なお、この科目は「保育実習指導 I」と連動している。 実習期間：2月ないしは3月の10日間程度 実習先：本学指定の社会福祉施設 実習形態：配属先に宿泊して行う場合と、自宅から通う場合とがある。							
教科書	『五訂 福祉施設実習ハンドブック』 岡本幹彦ほか（みらい） 価格（本体2,100円＋税） 『みらい×子どもの福祉ボックス 子ども家庭福祉（別科目で購入済み）』 堀場純矢 編（みらい） 価格（本体2,100円＋税）						
参考書	保育実習指導 I の授業において随時紹介していきます。						
担当者からのメッセージ	実習では「謙虚に現実から学ぶ」ことを大切に、おおいに学んでください。 成績評価について： 実習日程をすべてクリアした学生について、施設評価・記録・課題に対する取り組み状況を踏まえて総合的に評価を行う。 「保育実習指導 I」が不合格あるいは「実習に関するルール」に著しく抵触する者、期日までに理由なく実習記録等の提出物を出せなかった者については、単位を認めないため重々注意すること。 配付資料を無くさないように注意すること。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	実習事後指導の時間に、実習の成果・課題を振り返る時間を設ける。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点						
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート						
	その他	100	実習先からの評価				
	自由記載						
オフィスアワー	永久研究室 月・火・水曜日 12時15分～13時 事前にメール等での連絡があれば他の時間への調整は可 ●●研究室 ●●曜日 ●時～●時						
担当教員E-mail	k-nagahisa@sumire.ac.jp（永久）						
教員相互授業参観	福祉施設への配属実習のため非公開						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習) 目安時間(分)	
1 /	10日間の実習プログラムは、実習先により異なる	施設先指導員 永久 他	配属実習	法定の実習時間	0
2 /					
3 /					
4 /					
5 /					
6 /					
7 /					
8 /					
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
保育リーダー論 I	三上 佳子(専 任)	1年次	後期	1	演習	選択	○
							実務経験
							○
Childcare leader theory I							
資格等取得との関連		保育士資格の選択					
授業の到達目標 <ul style="list-style-type: none"> ・保育者としての成長過程のイメージや見通しをもち、自らのキャリア選択を行う際に役立てることができる。 ・新規採用の時期に、実践的指導力を学び、保育の楽しさを理解している。 ・中堅の時期に、学級経営や保護者対応などの専門性を磨き、コミュニケーション力を高めることができる。 ・保育主任の時期に、人材育成の視点をもちリーダーシップを学ぶことを理解している。 ・園長の時期に、広い識見と自らの保育観をもとに、園全体を運営していくことを理解している。 							
授業の内容 <p>幼稚園及び教育行政の経験を踏まえ、保育リーダー論Iを指導する。</p> <p>園長・主任・若手教員など保育経験者をゲストティチャーとして招聘し、新規採用時のエピソードを含む現場での多様な経験や身につけてきた力について講話をいただく。事前にゲストティチャーへの質問を考えておく、講師に自分の学んだことを伝えるなど、主体的に受講できるようにする。また「保育の楽しさ」「専門性を磨き、コミュニケーション力を高める」「リーダーシップを発揮する」などキャリアごとに身につけたいポイントを理解するとともに、保育者としての成長過程のイメージや見通しがもてるようにする。本授業は、アドバンスクラスの学生のみが履修できる保育士選択必須科目である。</p>							
教科書	なし						
参考書	授業の中で提示する						
担当者からのメッセージ	この時期に携わる保育者が自ら学ぶ姿勢を持ち、時代の変化や自らのキャリアステージに応じて求められる資質・能力を生涯にわたって高めていくことが必要です。新規採用時に「子どもは好きだけど、保育は難しい」「保育者としてやれるのか」など不安を感じていることを、保育経験者がどのように乗り越え、どのような力を身につけていったのかについて具体的に学ぶ機会です。現場の保育経験者を招聘しますので、積極的に学ぼうとする授業態度が必要です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	提出された記録用紙・課題は添削して返却する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	受講態度				
	授業内試験						
	定期試験						
	レポート	60	振り返りシート提出				
	その他	20	講師への質問シート課題				
	自由記載						
オフィスアワー	三上研究室 水曜日 12時15分～12時50分 事前にメール等で予約を取ること						
担当教員E-mail	y-mikami@sumire.ac.jp (三上)						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 保育者としての成長過程のイメージや見通しをもつ。	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
2 /	新規採用の時期の悩みを解決する力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
3 /	新規採用の時期に高める実践指導力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
4 /	中堅の時期に身につけたい経験とコミュニケーション力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
5 /	保育主任の時期に身につけたい経験と人材育成力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
6 /	園長の時期に身につけたい経験と園の運営力(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
7 /	人事担当経験者からみたキャリアステージに応じて求められる保育者像(ゲストティーチャーから学ぶ)	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
8 /	保育リーダー論 I の振り返り	三上	講義と演習	講義内容の復習	90
9 /					
10 /					
11 /					
12 /					
13 /					
14 /					
15 /					
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員教育保育職特別講義Ⅰ	久米 央也(専 任)	1年次	後期	2	講義	選択	実務経験
Special Lecture for Kindergarten Nursery Teacher Recruitment Examination Ⅰ							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公立の幼稚園、保育所、認定こども園への就職を目指し、採用試験に合格するための基礎学力を身につける。 ・採用試験における主要科目の出題傾向を理解する。 ・判断推理、数的数理の基本問題を解くことができる。							
授業の内容 公立の幼稚園、保育園、認定こども園の採用試験における出題傾向を学び、主要科目の基礎学力を身につける。主に判断推理、数的数理の例題を提示し、解説を行う。その後、練習問題を解いていき、理解を深めていく。なお、毎回課題が出るので、その課題を次の授業までにしっかりとこなしていくことが求められる。							
教科書	なし						
参考書	授業の中で紹介する						
担当者からのメッセージ	公務員試験まで、時間をかけてじっくりと繰り返し取り組むことが大切である。合格したいという熱意を持って受講すること。また、毎回出す課題については、次の時間までに必ず取り組むことを心がける。自分の知識の幅を広げること、思考力を深めることは、合格、不合格にかかわらず自分の人生をより豊かにすることに繋がる。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業の冒頭に前回の課題から小テストを毎回行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	20	積極的に授業に参加し、理解を深めようとしているかを評価する				
	授業内試験	30	毎時間、確認テストを実施し、学んだことが理解できているかを評価する				
	定期試験	50	授業で学んだことが理解できているかを評価する				
	レポート						
	その他						
	自由記載						
オフィスアワー	久米研究室 火曜日 12時15分～12時50分（事前に連絡をください）						
担当教員E-mail	h-kume@sumire.ac.jp（久米）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP2)【専門性をいかす技能】 保育、教育、福祉の現場を理解し、そこで必要とされる技能を修得し実践する能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	オリエンテーション 基礎学力の確認 算数・数学の復習	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
2 /	数的推理1 計算、数列、約数・倍数	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
3 /	数的推理2 損益算(原価、定価、売価、利益)	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
4 /	数的推理3 代金精算、金銭算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
5 /	数的推理4 年齢算、鶴亀算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
6 /	数的推理5 速さの問題(速さ、距離、時間)	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
7 /	数的推理6 旅人算(出会い算・追いつき算)	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
8 /	数的推理7 通過算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
9 /	数的推理8 濃度算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
10 /	数的推理9 濃度算応用問題	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
11 /	数的推理10 仕事算、水槽算	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
12 /	数的推理11 場合の数、順列、組合せ	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
13 /	数的推理12 経路問題 図形問題	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
14 /	判断推理1 命題、集合、嘘つき問題	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
15 /	判断推理2 対応関係、位置関係、暗号 まとめ	久米	講義と演習	講義内容の復習課題	100
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
レクリエーション概論 (幼教)	山中 博史(専 任)	1年次	後期	2	講義	-	○
							実務経験
Introductory Recreatin							
資格等取得との関連	レクリエーション・インストラクター資格の必修						
授業の到達目標 ・レクリエーションの意味と価値を検討する。 ・レクリエーション支援の方法を理解できる。							
授業の内容 レクリエーションはかつて仕事の疲れを癒す休息として、また辛い労働からの一時的な解放（気晴らし）として考えられてきた。しかし、今では余暇時間の増大に伴い、如何にその時間を有効に過ごすかが無視できない課題となってきた。レクリエーションはこの課題を解決する1つの有効な手段として、最近特にクローズアップされるようになってきた。 レクリエーションとはこれまでの自分の枠組みから脱皮して、自ら新しい可能性を発見することである。換言すれば、自分を作りなおすことこそが、レクリエーションの課題であるといえよう。 そこで本講義ではレクリエーションの意味と価値を検討し、レクリエーション支援の方法を理解することを目的とする。そしてその理論をもとに、2回生で開講されるレクリエーション演習「レクリエーション指導法実習」を受講してもらいたい。 なお、本講義はレクリエーションインストラクター資格取得の必修科目である。							
教科書	なし						
参考書	レクリエーション支援の基礎（日本レクリエーション協会）						
担当者からのメッセージ	レクリエーションの基本で今後演習、指導法を学ぶにも必要です。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	毎回の講義の中で必要に応じてフィードバックを行う。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	講義に積極的に取り組んでいるかを評価する				
	授業内試験	50	理解度確認のために試験を実施する				
	定期試験						
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	体育研究室 月・火・水曜日 16時30分～18時						
担当教員E-mail	hyamanaka@sumire.ac.jp（山中）						
教員相互授業参観	全て公開する（参観の前に連絡してください）						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(幼DP1)【専門知識と教養】 子どもの心身の発育と発達についての基礎的、専門的知識と、現代社会における様々な問題に向き合いながら、子ども一人ひとりに対してどのような保育、教育を行うことが望ましいかについて理解する能力。 (幼DP3)【問題提起・解決能力】 子ども一人ひとりに対し、置かれている環境や発達過程、心の動きに応じた課題を捉え、具体的な援助が行える能力。また、保護者の社会的な状況を理解し、相談援助ができる能力。保育、教育の適切な記録を残し、伝達することのできる表現力と、子ども、そして保護者との信頼関係を築き、適切な指導、相談援助ができるコミュニケーション能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	ガイダンス 実施要項の説明	山中	講義	実施要項の理解	90
2 /	レクリエーションの理解	山中	講義	講義内容をまとめる	90
3 /	レクリエーションの歴史	山中	講義	講義内容をまとめる	90
4 /	ライフスタイルの見直し	山中	講義	講義内容をまとめる	90
5 /	レクリエーションのベネフィット	山中	講義	講義内容をまとめる	90
6 /	レクリエーションの支援の展開と方法	山中	講義	講義内容をまとめる	90
7 /	クラブの育成法・運営法	山中	講義	講義内容をまとめる	90
8 /	事業の実施法	山中	講義	講義内容をまとめる	90
9 /	ホスピタリティートレーニング	山中	演習	演習内容をまとめる	90
10 /	アイスブレイキング	山中	演習	演習内容をまとめる	90
11 /	音楽・アロマを用いてのヒーリング	山中	演習	演習内容をまとめる	90
12 /	ソーシャルスタイルを用いてのコミュニケーション	山中	演習	演習内容をまとめる	90
13 /	リーダーシップとは	山中	講義	講義内容をまとめる	90
14 /	フォロアーシップとは	山中	講義	講義内容をまとめる	90
15 /	まとめ・試験	山中	講義	講義内容をまとめ試験を行う	90
/					

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員特講 I (幼教)	長谷川正雄(非常勤)	1年次	前期集中	1	演習	-	実務経験
Special Lecture of Civil Servant I							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公務員試験における重要科目の出題傾向を理解できる。 ・公務員試験における重要科目の入門的な内容を習得する。							
授業の内容 公務員試験は出題科目が多いことが特徴の一つである。しかし必ずしも全ての科目を学習しないと合格できないわけではない。合格するにはまず出題数が最も多い一般知能系科目（数的推理、判断推理）を理解することが重要である。公務員特講 I では、この重要科目の出題傾向を把握するとともに、入門的な知識の取得と解法の理解を図る。（以下の授業計画における科目の順番は変更となる場合がある）							
教科書	なし						
参考書	教科書：基礎力養成・完成テキスト（税込1,800円／授業初日に教室にて販売する）						
担当者からのメッセージ	数的推理や判断推理は反復学習をしないと身につけません。しっかりと復習するようにしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に学習した範囲の練習問題にも取り組み、その解説、フィードバックを行う。 また、定期試験はその練習問題の知識や解法が、身についているか確認する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	日々の授業へ積極的・意欲的に参加しているか受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業内で扱った範囲から出題し、公務員試験における知識や解法が身についたか確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【問題提起・解決能力】 問題点を発見し、状況を判断し考察したうえで、適切な対応ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	数的推理1 方程式	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
2 /	数的推理2 方程式	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
3 /	数的推理3 割合	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
4 /	数的推理4 割合	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
5 /	数的推理5 速さ	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
6 /	数的推理6 速さ	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
7 /	数的推理7 確率	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
8 /	数的推理8 確率	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
9 /	数的推理9 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
10 /	数的推理10 図形	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
11 /	数的推理11 整数	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
12 /	数的推理12 整数	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
13 /	資料解釈1	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
14 /	資料解釈2	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
15 /	資料解釈3	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
/	定期試験				

授業科目名	担当教員	年次	開講期	単位	形態	卒業必修・選択	アクティブラーニング
公務員特講Ⅱ (幼教)	長谷川正雄(非常勤)	1年次	後期	1	演習	-	実務経験
Special Lecture of Civil Servant II							
資格等取得との関連							
授業の到達目標 ・公務員試験の重要科目の出題傾向を理解できる。 ・公務員試験における重要科目の入門的な内容を習得する。							
授業の内容 公務員試験は出題科目が多いことが特徴の一つである。しかし必ずしも全ての科目を学習しないと合格できないわけではない。合格するにはまずは出題数が最も多い一般知能系科目（判断推理、空間把握）を理解することが重要である。公務員特講Ⅱでは、この重要科目の出題傾向を把握するとともに、入門的な知識の取得と解法の理解を図る。（以下の授業計画における科目の順番は変更となる場合がある）							
教科書	なし						
参考書	教科書：基礎力養成・完成テキスト（税込み1,800円／授業初日に教室にて販売する）						
担当者からのメッセージ	判断推理や空間把握は反復学習をしないと身につけません。しっかりと復習するようにしましょう。						
課題（試験やレポート等）に対するフィードバック	授業中に学習した範囲の練習問題にも取り組み、その解説、フィードバックを行う。 また、定期試験はその練習問題の知識や解法が、身につけているか確認する。						
成績評価の方法及び基準	種別	割合(%)	評価基準等				
	平常点	50	日々の授業へ積極的・意欲的に参加しているか受講態度を評価する				
	授業内試験						
	定期試験	50	授業内で扱った範囲から出題し、公務員試験における知識や解法が身についたか確認する				
	レポート						
	その他						
自由記載							
オフィスアワー	授業終了後に教室で質問を受け付ける						
担当教員E-mail							
教員相互授業参観	公開しない						
卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連	(ビDP3)【問題提起・解決能力】 問題点を発見し、状況を判断し考察したうえで、適切な対応ができる能力。						

授 業 計 画					
回数 日付	学 習 内 容	担当者	授業の運営方法	学習課題(予習・復習)	目安時間(分)
1 /	判断推理1 順序関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
2 /	判断推理2 順序関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
3 /	判断推理3 対応関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
4 /	判断推理4 対応関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
5 /	判断推理5 論理	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
6 /	判断推理6 論理	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
7 /	判断推理7 位置関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
8 /	判断推理8 位置関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
9 /	判断推理9 数量関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
10 /	判断推理10 数量関係	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
11 /	判断推理11 集合	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
12 /	空間把握1	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
13 /	空間把握2	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
14 /	空間把握3	長谷川	例題の解説、練習	復習用の練習問題の提示	90
15 /	空間把握4	長谷川	例題の解説、練習	自己分析	90
/	定期試験				